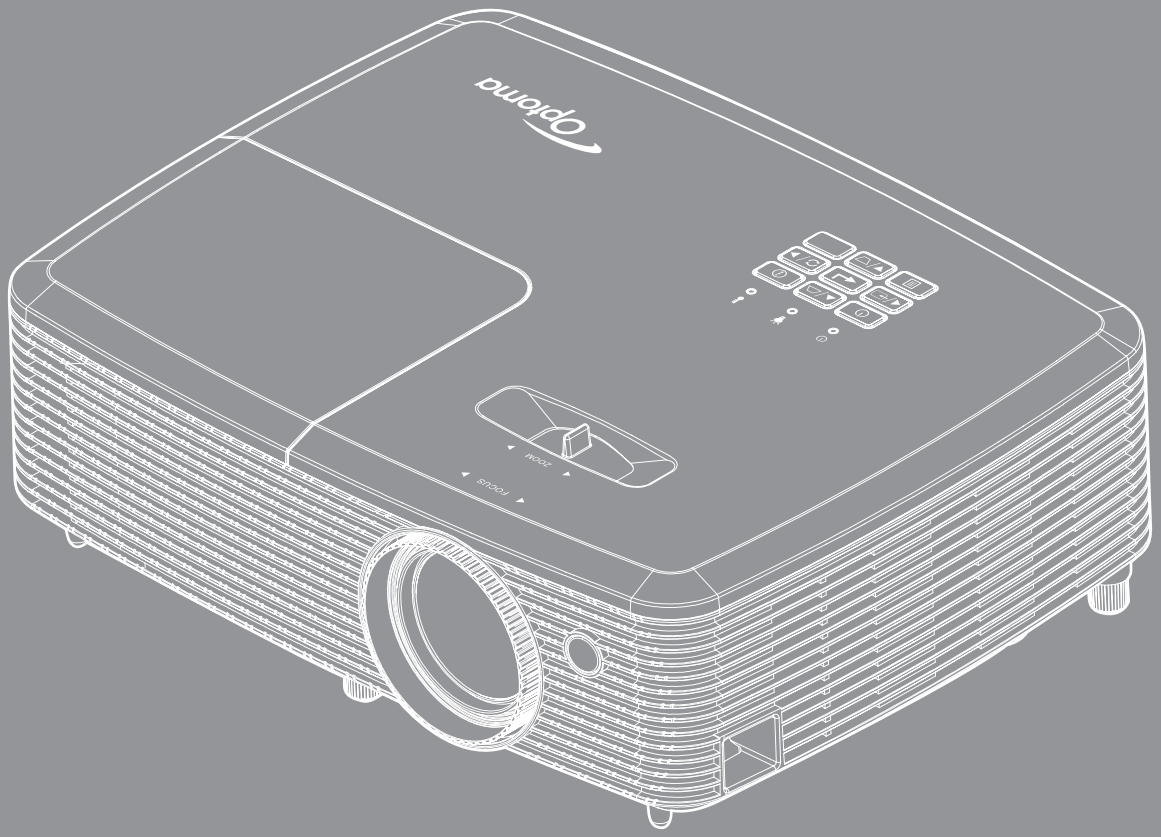
DLP® プロジェクター
HD27
取扱説明書



ユーザーマニュアル

目次

必ずお守りください（安全上の注意）.....4

必ずお守りください（安全上の注意）.....4
3D 安全情報.....6
著作権.....6
免責条項.....6
商標認識.....6
FCC.....7
EU諸国への適合宣言.....7
WEEE.....7

はじめに.....8

パッケージの概要.....8
標準付属品.....8
製品の各部名称.....9
接続.....10
キーパッド.....11
リモコン.....12

設定と設置.....13

プロジェクターを設置する.....13
ソースをプロジェクターに接続する.....14
投写画像の調整.....15
リモコンの準備.....16

プロジェクターを使用する.....18

プロジェクターの電源を入れる／切る.....18
入力ソースを選択する.....19

プロジェクターを使用する.....20

メニューナビゲーションと機能.....20
OSD メニューツリー.....21
表示画像設定メニュー.....29
ディスプレーの 3D メニュー.....30
アスペクト比メニューの表示.....31
表示画像シフトメニュー.....32
表示キーストンメニュー.....32
オーディオミュートメニュー.....33

オーディオボリュームメニュー *33*
投影設定メニュー *33*
ランプ設定メニュー *33*
フィルター設定メニュー *33*
電源設定メニュー *34*
セキュリティー設定メニュー *34*
HDMI Link 設定メニューの設定 *35*
リモート設定メニュー *35*
12V トリガーメニューの設定 *36*
オプション設定メニュー *36*
リセット OSD メニューの設定 *37*
初期状態にリセットメニューの設定 *37*
情報メニュー *37*

保守管理 38

ランプの交換 *38*
ダストフィルターの取り付けと洗浄 *40*

追加情報 41

対応解像度 *41*
イメージサイズと投写距離 *42*
プロジェクターの寸法と天井取り付け *43*
IR リモコン *44*
トラブルシューティング *46*
警告インジケータ *48*
仕様 *50*
保証書 *51*
Optoma 社グローバルオフィス ..... *裏表紙*

必ずお守りください（安全上の注意）

安全に関する重要な内容です。
お使いになる方や他の方への危害や財産への損害を未然に防止するために、必ずお守りいただきたいことを説明しています。そのため、この取扱説明書で推奨されたすべての警告、安全上のご注意およびメンテナンスの指示に従い、内容をよくご理解いただき正しくお使いください。

⚠ 警告	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負うなど、人身事故の可能性が想定されます。
⚠ 注意	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人がけがをしたり、物的損害をあたえる可能性が想定されます。

⚠ 警告	この表示は、製品の筐体内部に感電の恐れのある絶縁されていない「危険な電圧」が相当な規模で存在していることを表示しています。
警告	火災および感電の恐れがあるため、本機器を雨や湿気にさらさないでください。筐体内部には危険な高電圧が存在しますので、キャビネットは開けないでください。開けるときは、サービススタッフにご依頼ください。

⚠ 警告

禁止
光線をのぞき込まないでください (RG2)。
あらゆる明るい光源と同様に、直接の光線をのぞき込まないでください (RG2 IEC 62471-5:2015)。



感電注意
プロジェクターを雨や湿気にさらさないでください。ラジエーター、ヒーター、ストーブまたは熱を発生するその他の機器(アンプを含む)など、熱源のそばに設置しないでください。
火事や感電のリスクがあります。

禁止
プロジェクター内部に、異物や液体が入らないようご注意ください。
危険な電圧部分に触れて、部品がショートしたり、火災、感電を引き起こす原因になります。

禁止
以下のような環境下では使用しないでください。
・極端に気温の高い、低い、あるいは湿気の多い場所。
①室温が 5℃～40℃ の範囲に保たれていることを確認します。
②相対湿度は10%～85%の範囲です。
・大量のほこりや汚れにさらされる場所。
・強い磁場が集まる装置の傍に置く。
・直射日光の当たる場所。

発火注意
可燃性ガスや爆発性ガスが空気中に含まれる可能性がある場所でプロジェクターを使用しないでください。
プロジェクターの使用中、中のランプが高温になり、ガスが発火し、火災が発生することがあります。

禁止
物理的に破損しているまたは乱用された痕跡のある装置は使用しないでください。
物理的なダメージや酷使とは以下の通りです。（ただしこれらに限定されません）
・装置を落とした。
・電源装置のコードまたはプラグが壊れている。
・プロジェクターに液体をこぼした。
・プロジェクターを、雨や湿気にさらしてしまった。
・プロジェクター内部に何らかの異物を落とした。または、内部で何かが緩んでいる音がする。

禁止
不安定な場所にプロジェクターを置かないでください。
プロジェクターが落下して壊れたり、人身事故を起こす可能性があります。

禁止
プロジェクターの使用中、プロジェクターのレンズから発せられる光を遮断しないでください。
光が物体を暖め、溶解、火傷、火災などを引き起こす恐れがあります。

分解禁止
プロジェクターのカバーを外したり、本体を分解したりしないでください。
感電の原因になります。

禁止
お客様自身でこのプロジェクターを修理しないでください。
カバーを開けたり取り外したりすると、危険な電圧やその他の危険にさらされます。
分解すると保証の対象外となります。本体のシールをはがさないでください。
本機を修理に出す前にコンタクトセンター にお電話ください。



禁止
プロジェクターの使用中、プロジェクターのレンズを直視しないでください。
強力な光線により、視力障害を引き起こす恐れがあります。

⚠注意

必ず実行	通気孔を塞がないでください。プロジェクターを過熱から守り、正常な動作を保つため、通気孔を塞がない場所に設置してください。飲み物等が置かれたコーヒーテーブルや、ソファー、ベッドにプロジェクターを置かないでください。 また、本棚、戸棚など風通しの悪い狭い場所に置かないでください。
必ず実行	ランプを交換する際は、ユニットの熱が冷めるまでお待ちください。 ランプの交換は38～39ページに記載の手順に従ってください。
必ず実行	本プロジェクターは、ランプの寿命を自動的に検知します。 警告メッセージが表示されたら、必ずランプを交換してください。
必ず実行	ランプモジュールを交換した場合は、オンスクリーン表示の [設定 | ランプ設定] にある [ランプリセット] 機能を使用してリセットします。
必ず実行	プロジェクターの電源を切るときは、冷却サイクルが完了したことを確認してから、電源コードを抜いてください。プロジェクターは、少なくとも90秒間、放熱させてください。
必ず実行	ランプの寿命が近づくと、[ランプの寿命が過ぎています。] というメッセージが画面上に表示されます。できるだけ速やかに、最寄りの販売店またはサービスセンターに連絡して、ランプを交換してください。
必ず実行	本体のスイッチをオフにして、電源プラグをコンセントから抜いてから、本機をクリーニングしてください。
必ず実行	ディスプレーの筐体を洗浄する際は、中性洗剤と柔らかい乾いた布をご使用ください。 本体を研磨剤、ワックス、溶剤で洗浄しないでください。
必ず実行	本機を長時間使用しない場合は、電源プラグをコンセントから抜いてください。
必ず実行	**注記** ランプが寿命に達すると、ランプモジュールを交換するまでプロジェクターの電源は入りません。38～39 ページの [ランプの交換] セクションに記載されている手順に従ってランプを交換してください。

お願い

- 安全に関係するマークについては、プロジェクターの筐体をご覧ください。
- 本機の修理は、適切なサービススタッフだけに依頼してください。
- メーカー指定の付属品／アクセサリーのみをご使用ください。
- 振動や衝撃を受けるような場所にプロジェクターを設置しないでください。
- レンズを素手で触らないでください。
- 保管前にリモコンから電池を取り外してください。
  長期間、電池がリモコンに入っていると、液漏れが発生する恐れがあります。
- 石油または煙草からの煙が存在する可能性がある場所でプロジェクターを使用または保管しないでください。
  プロジェクターの性能が低下する可能性があります。
- プロジェクターは正しい向きで設置してください。
  標準的な設置方法でなければ、プロジェクターの性能が低下する可能性があります。
- 電源ストリップまたはサージプロテクターを使用してください。
  停電または電圧低下により装置が破損する恐れがあります。

3D安全情報

ご自身またはお子様が 3D 機能をご利用される場合は、この取扱説明書で推奨されたすべての警告、安全上のご注意に従ってご利用ください。

⚠ 警告

注意

幼児及び10代の方は3D鑑賞に関連する健康問題により影響を受けやすくなっていますので、画像を見る際は十分にご注意ください。

光感受性発作の警告及びその他健康面におけるリスク

- プロジェクターの映像やビデオゲームに含まれる点滅画面やライトにさらされると、一部視聴者はてんかん症状や発作を起こす恐れがあります。そのような症状が発生した場合またてんかんや発作の家族歴がある場合は、3D機能をご使用いただく前に医療専門家にご相談ください。
- てんかんや発作の個人歴また家族歴がない方でも、光感受性てんかん発作を引き起こす診断未確定症状が現れる場合があります。
- 妊婦、高齢者、重症患者、不眠症患者やアルコール依存症の方は、当装置の3D機能のご使用はお控えください。
- 以下の症状を経験されたことがある方は、ただちに3D映像の鑑賞を中止し、医療専門家にお問い合わせください。
  (1) 視覚の変化　(2) 軽い頭痛　(3) 眩暈　(4)眼や筋肉の引きつりといった無意識の動作　(5)混乱状態
  (6)吐き気　(7) 意識喪失　(8)痙攣　(9)急激な腹痛　(10) 見当識障害。
  幼児及び10代の方は大人よりこれらの症状が出やすいとされています。特にお子様がご利用されている場合、ご両親はお子様を監督いただき、これらの症状が出ていないかご確認ください。
- 3D映像の鑑賞は、吐き気、知覚後遺症、見当識障害、眼精疲労、姿勢の安定性減少をもたらす恐れがあります。ユーザーはこれらの影響の可能性を削減するために、3D映像の鑑賞中は頻繁に休憩を取ることを推奨します。目に疲労や乾きまた上記の症状が出現した場合、ただちに当機器のご使用を中止ください。
  また、症状が落ち着いてからでも、最低30分はご使用をお控えください。
- 長時間、画面の近くに座って 3D 映像を鑑賞すると、視力にダメージを与える恐れがあります。
  理想的な鑑賞距離は、画面高さの最低3倍の距離です。
  また、目の高さの推奨位置は、視聴者の目の位置が画面の高さにあることです。
- 3D眼鏡をかけながらの長時間にわたる3D映像の鑑賞は、頭痛や疲労を引き起こす恐れがあります。
  頭痛、疲労や眩暈を感じた場合、3D映像の鑑賞を中止し、休憩してください。
- 3D映像の鑑賞以外の目的での3D眼鏡のご使用はお止めください。
- その他の目的 (通常の眼鏡、サングラス、保護ゴーグルなど) のための3D眼鏡の着用は、肉体的傷害を引き起こしたり、視力の低下をもたらす恐れがあります。
- 3D映像の鑑賞は、一部視聴者において見当識障害を引き起こす恐れがあります。3D映像を参照する際は、広い階段の吹き抜けやバルコニーの傍にプロジェクターを設置しないで下さい。また他の物が落下したり、倒れたり壊れたりするような場所にもプロジェクターを設置しないでください。

著作権

この出版物は、すべての写真、イラスト、ソフトウェアを含め、著作権に関する国際法の下で保護され、無断複写・転載が禁じられます。このマニュアルもこの中に含まれるいかなる素材も作者の書面による同意なしで複製することはできません。© 著作権 2015

免責条項

本書の情報は予告なしで変更されることがあります。製造者は本書の内容について、また製品の保証についての特定の要求や、特定の目的に適合させることについてのいかなる表明も保証しません。製造者は、本書を折りに触れて変更する権利を有し、製造者はこの改訂または変更を通知する義務は製造者にないものとします。

商標認識

Kensingtonは ACCO Brand Corporation の米国登録商標であり、世界中の他国で登録され、あるいは登録申請中になっています。HDMI、HDMI ロゴ、High-Definition Multimedia Interface は米国とその他の国における HDMI Licensing LLC の商標または登録商標です。DLP®、DLP Link、DLP ロゴは Texas Instruments の登録商標です。BrilliantColor™ は Texas Instruments の商標です。本書に記載されているその他すべての製品名はそれぞれの所有者の財産であり、認知されています。DARBEEは、Darbee Products, Inc. の商標です。
MHL (Mobile High-Definition Link)および MHL ロゴは、MHL Licensing, LLC の商標または登録商標です。

FCC

本装置は、FCC基準パート15に準ずるClass Bのデジタル電子機器の制限事項に準拠しています。
これらの制限は、居住地において有害な干渉からの適切な保護を提供するために設定されております。
本装置は高周波エネルギーを生成し使用しています。そのため、高周波エネルギーを放射する可能性があります。
指示に従って正しく設置しなかった場合、無線通信に障害を及ぼす可能性があります。

しかし、干渉が個々の設置において発生しないと保証することはできません。
本装置の電源を切ったり入れたりすることにより、本装置がラジオやテレビ受信に有害な干渉をもたらしていると確認できる場合は、下記の手順で改善を試みてください。

- 受信アンテナの再設定又は移動。
- 本装置と受信機の距離を離す。
- 受信機の接続と異なる回路のコンセントを本装置へ接続。
- 販売代理店又は資格のある無線またはテレビ技術者へのお問い合わせ。

注意

シールドケーブル

その他コンピューターデバイスへの全ての接続は、FCC規則を遵守するために、シールドケーブルを必ず使用して行ってください。

注意事項

本装置に対しメーカーが明確に認定していない変更や修正を加えると、連邦通信委員会で許可されているユーザー権限が無効になることがあります。

運転状況

本装置は、FCCパート15に準拠しています。運転は、以下の2つの状況を前提とします。
1. 本装置は、有害な干渉を引き起こしてはならない。
2. 本装置は、不要な作動を引き起こす恐れのある干渉を含む干渉受信を許容する。

注意

カナダにお住まいのユーザーへ

当Class Bデジタル機器は、カナダICES-003に準拠しています。
Remarque à l'intention des utilisateurs canadiens
Cet appareil numérique de la classe B est conforme à la norme NMB-003 du Canada.

EU諸国への適合宣言

- EMC 指令2004/108/EC (修正案を含む)
- 低電圧指令2006/95/EC
- R & TTE指令1999/5/EC (製品にRF機能が搭載されている場合)

WEEE



廃棄物についての指示

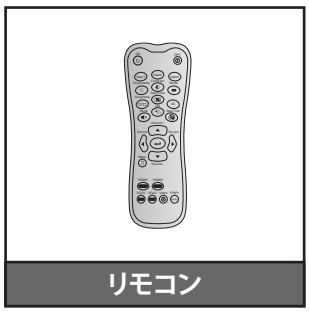
当機器を処分する際、電子装置はゴミ箱に捨てないでください。
汚染を最小限に抑え、最大限地球環境を保護するために、リサイクルしてください。

はじめに

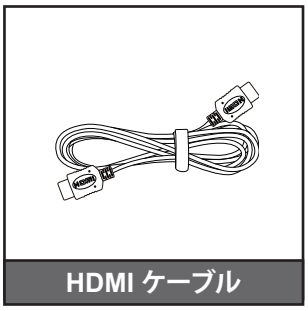
パッケージの概要

慎重に箱から取り出し、下記の「標準付属品」に記載されている品目が揃っていることを確認します。

標準付属品


リモコン

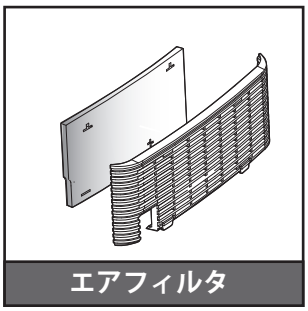

電源ケーブル


HDMI ケーブル



文書

オプションのアクセサリ

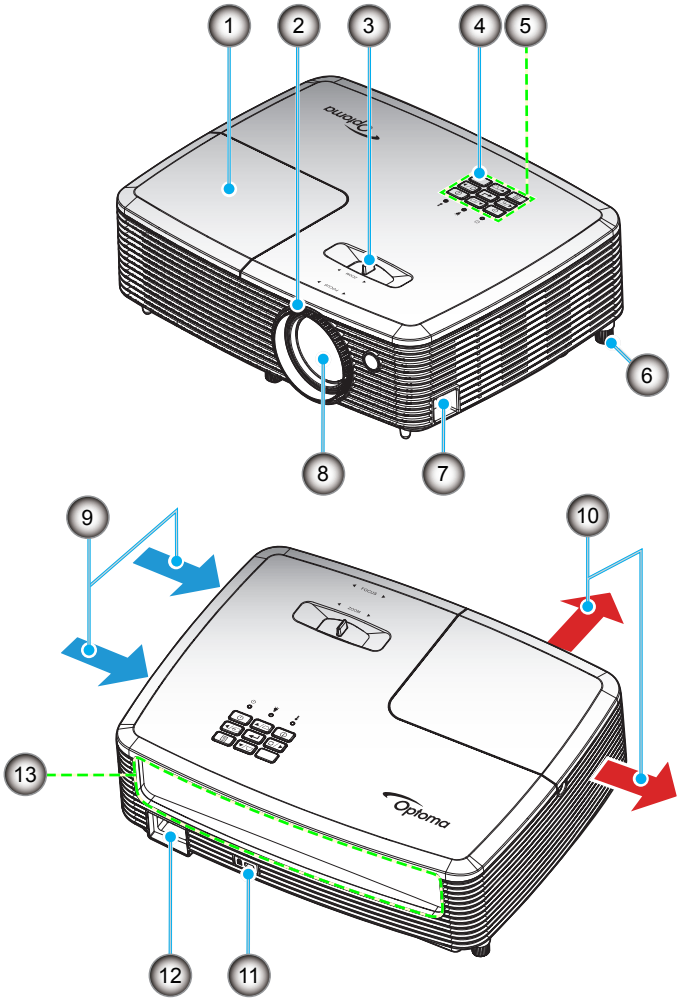

エアフィルタ

注記

- 電池はリモコンに内蔵されています。
- * 欧州の保証情報については、www.optomaeurope.com にアクセスしてください。

はじめに

製品の各部名称

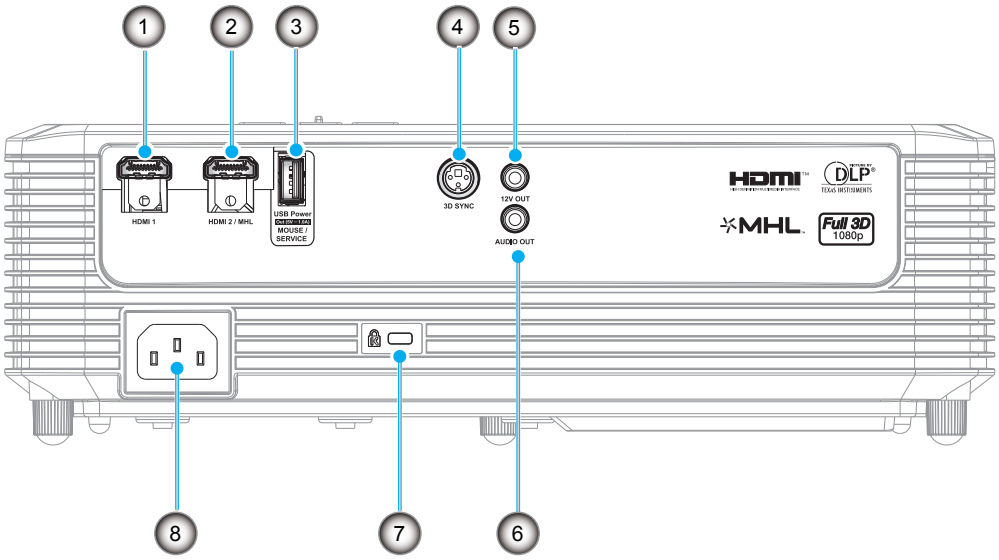


注記
- プロジェクターの吸気口または排気口を塞がないでください。
- 「入口」ラベルと「出口」ラベルの間に20センチメートル以上の隔たりを確保してください。

番号	アイテム	番号	アイテム
1.	ランプカバー	8.	レンズ
2.	フォーカス リング	9.	換気（吸気口）
3.	ズームレバー	10.	換気（排気口）
4.	IRレシーバー(リモコン受光部)	11.	Kensington™ ロック ポート
5.	キーパッド	12.	電源ソケット
6.	チルト調整フット	13.	入／出力接続端子
7.	セキュリティーバー		

はじめに

接続



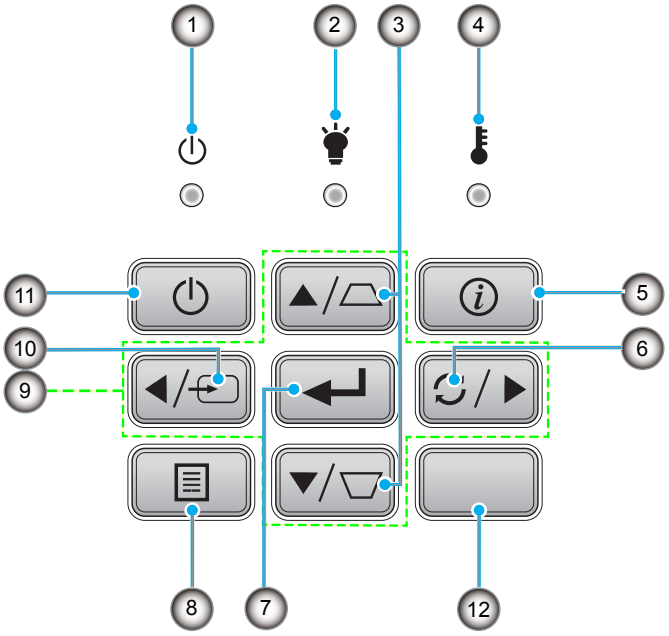
番号	アイテム
1.	HDMI 1
2.	HDMI 2／MHL
3.	USB出力 (5V⎓1A) コネクター／マウス* ／サービス用コネクタ
4.	3D同期
5.	12V 出力コネクタ
6.	オーディオ出力端子コネクタ
7.	Kensington™ ロック ポート
8.	電源ソケット

注記

- *このモデルは、マウス機能をサポートしません。

はじめに

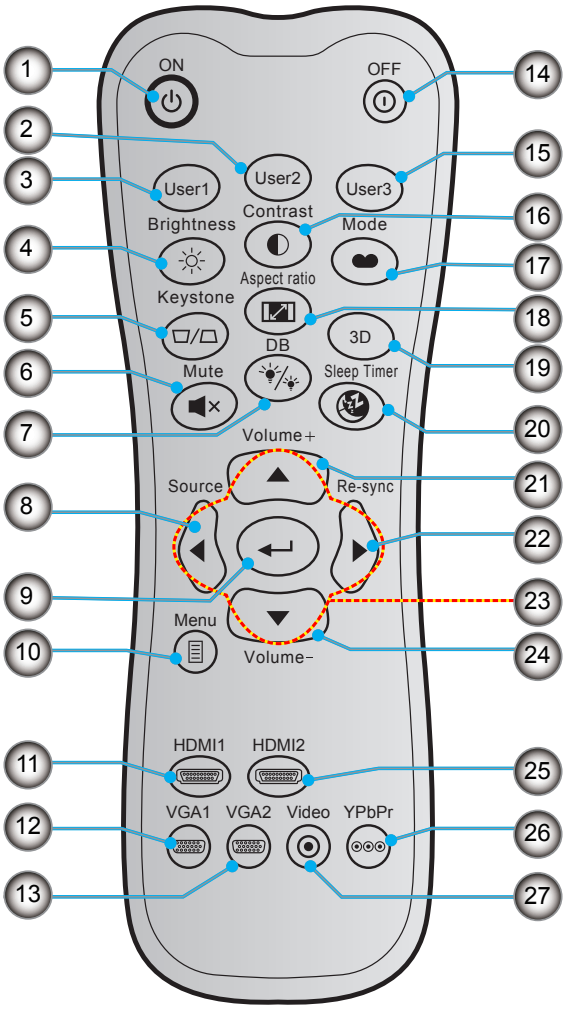
キーパッド



番号	アイテム	番号	アイテム
1.	オン／スタンバイ LED	7.	エンター
2.	ランプ インジケータ LED	8.	メニュー
3.	キーストン補正	9.	4 方向選択キー
4.	温度インジケータ LED	10.	入力ソース
5.	情報	11.	電源
6.	再同期	12.	リモコン受光部(P.17参照)

はじめに

リモコン



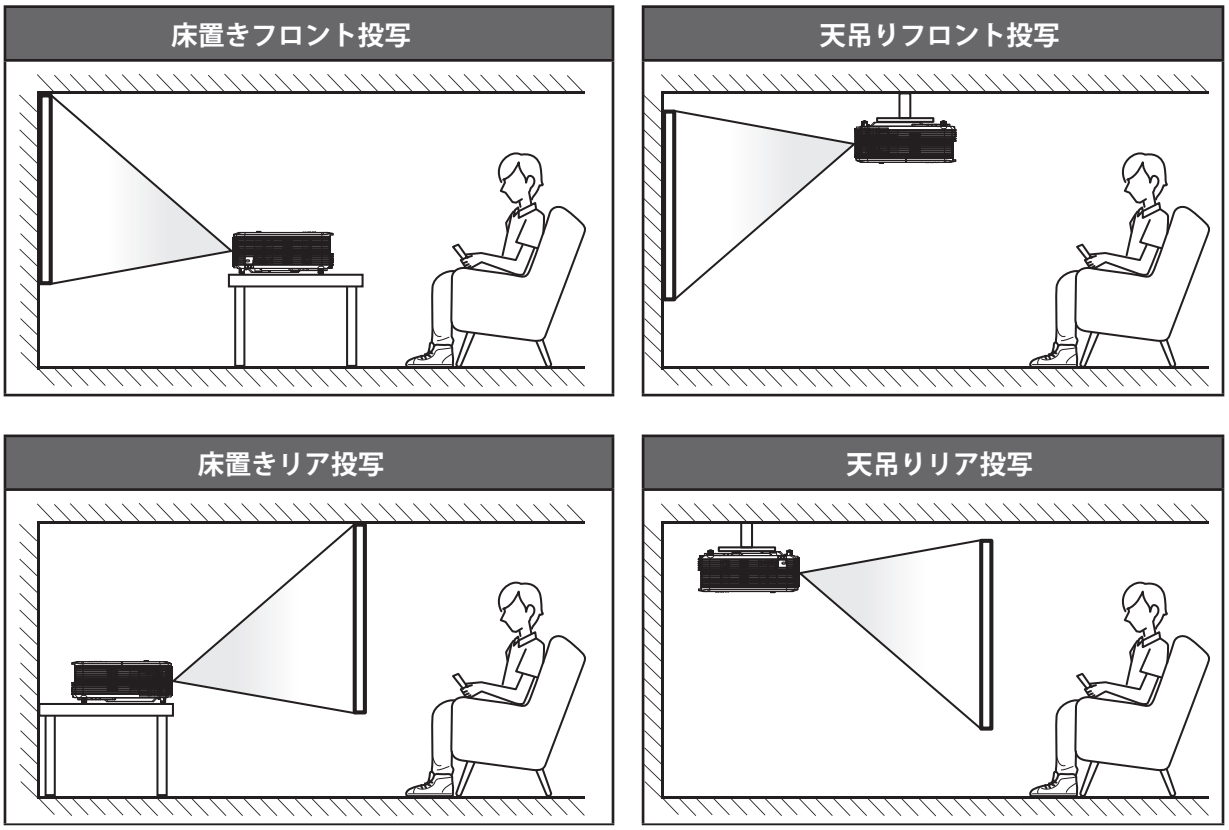
番号	アイテム	番号	アイテム
1.	電源オン	15.	ユーザー 3
2.	ユーザー 2	16.	コントラスト
3.	ユーザー 1	17.	ディスプレーモード
4.	輝度	18.	アスペクト比
5.	キーストン	19.	3D設定
6.	ミュート	20.	スリープタイマー
7.	DB (Dynamic Black)	21.	音量 +
8.	入力ソース	22.	再同期
9.	エンター	23.	4 方向選択キー
10.	メニュー	24.	音量 −
11.	HDMI1	25.	HDMI2
12.	VGA ※	26.	YPbPr ※
13.	VGA2 ※	27.	ビデオ ※
14.	電源オフ		

注記 *※印は、この機種では使用しません。*

設定と設置

プロジェクターを設置する

このプロジェクターには、4 つの設置方法があります。
部屋の設計や個人の好みに合わせて設置方法を決めてください。
プロジェクターを設置する場合、スクリーンの大きさと位置、コンセントの位置、プロジェクターとその他の機材の位置と間の距離を考慮して設置ください。



プロジェクターは平らな場所に置き、スクリーンに対して 90 度または垂直に設置します。

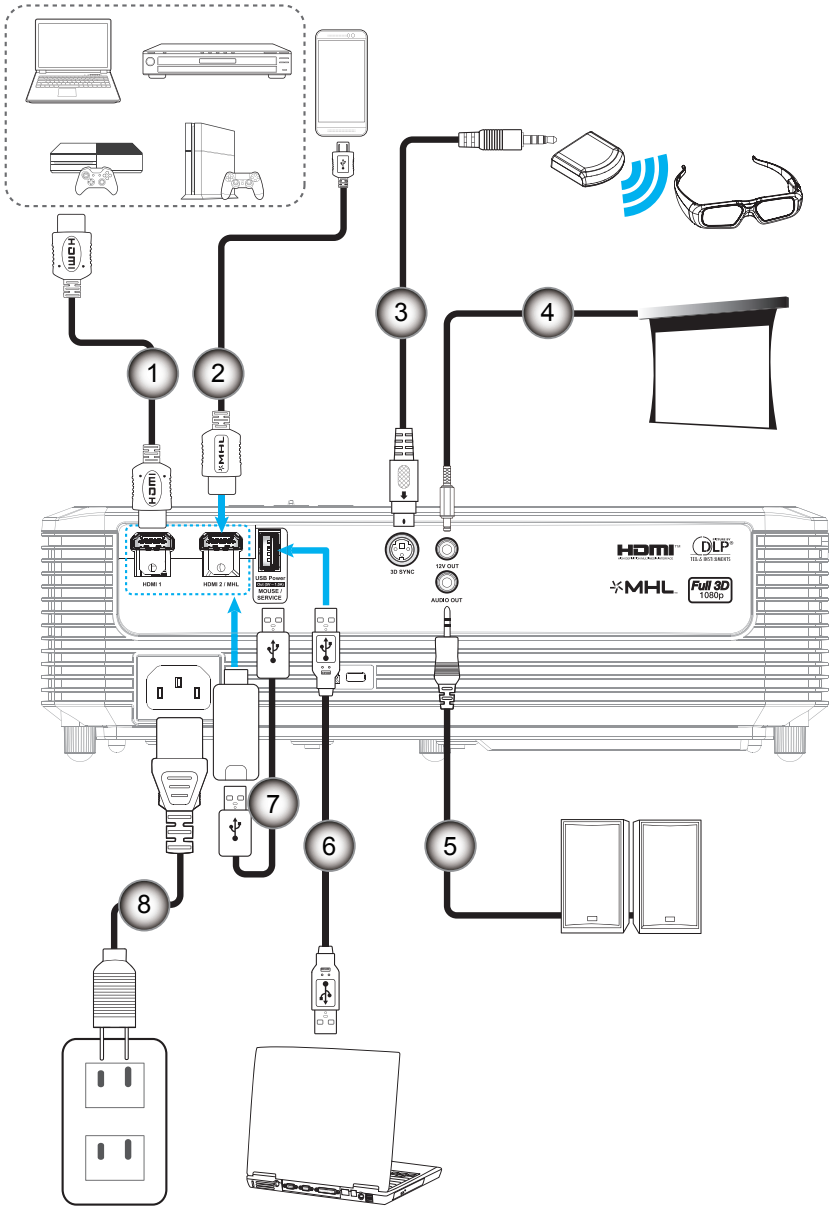
- 特定のスクリーンサイズに対してプロジェクターの位置を決定する方法については、42ページのイメージサイズと投写距離を参照してください。
- 特定の距離に対してスクリーンサイズを決定する方法については、42ページのイメージサイズと投写距離を参照してください。

注記 *プロジェクターとスクリーンの間の距離が離れると、投写される画像がそれだけ大きくなり、垂直オフセットも比例して大きくなります。*

重要 *プロジェクターを床置きまたは天吊り以外の向きで操作しないでください。*
プロジェクターは水平にし、前後または左右に傾けないようにしてください。
それ以外の向きでご使用された場合、保証は無効となります。
また、プロジェクターランプ及びプロジェクター自体の寿命を短くする恐れもあります。
設置に関するお問合わせについては、コンタクトセンター にお問合せください。

設定と設置

ソースをプロジェクターに接続する



番号	アイテム
1.	HDMI ケーブル
2.	HDMI／MHL ケーブル
3.	3D エミッターケーブル
4.	12V DCジャック
5.	オーディオ出力ケーブル
6.	USB ケーブル
7.	USB 電源ケーブル
8.	電源コード

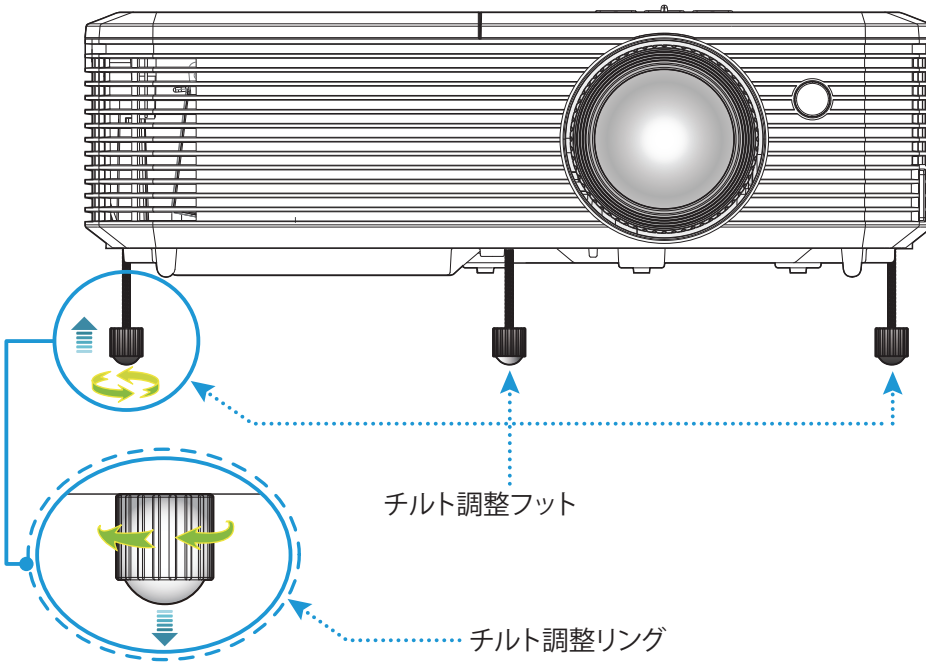
設定と設置

投写画像の調整

画像の高さ

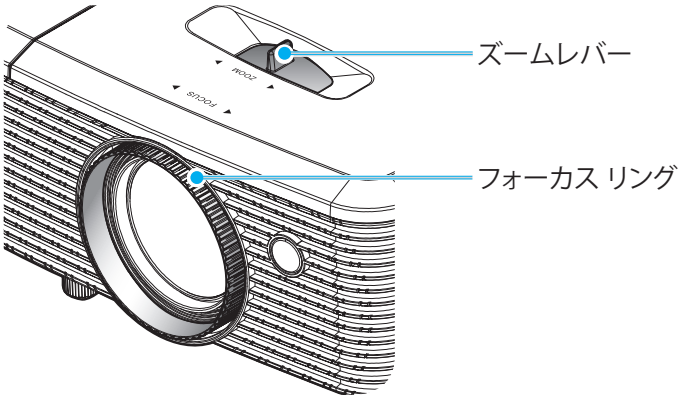
本プロジェクターには、投写映像の高さを調整するためのチルト調整フットがあります。

1. プロジェクター底面の、高さを調整したい調整フットを決めます。
2. チルト調整リングを時計方向または反時計方向に回してプロジェクターを上げ下げします。



ズームとフォーカス

- 画像の大きさを調整するには、ズームレバーを時計方向または反時計方向に回し、投写される画像の大きさを調整します。
- フォーカスを調整するには、画像が鮮明になり、文字が読めるようになるまでフォーカスリングを時計方向または反時計方向に回します。



注記 *このプロジェクターは 1.5m～10m の距離でピントを合わせることができます。*

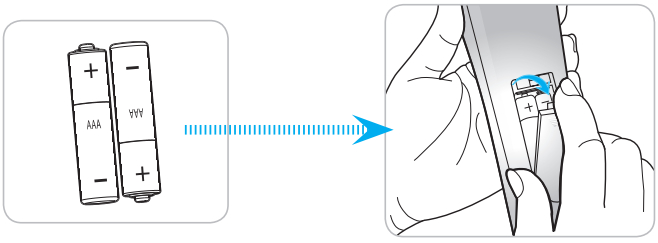
設定と設置

リモコンの準備

電池の取り付け／交換

リモコンには単 4 電池 2 本が付属しています。

1. リモコンの背面にある電池カバーを外します。
2. 図のように単 4 電池をバッテリーコンパートメントに挿入します。
3. リモコンのカバーを戻します。



注記 *交換には同じ電池か同種の電池のみをご使用ください。*

注意事項 電池の使い方が正しくないと、化学物質の漏れや爆発が起こる恐れがあります。
必ず以下の指示に従ってください。

- 異なる種類の電池を同時に使用しない。電池の種類によって特性が異なります。
- 古い電池と新しい電池を同時に使用しない。古い電池と新しい電池を同時に使用すると、新しい電池の寿命が短くなったり、古い電池から化学物質漏れが起こる恐れがあります
- 使い切った古い電池はすぐに取り外してください。電池から漏れた化学物質が肌に触れると発疹が出ることがあります。化学物質漏れを発見した場合は、すぐに布で拭きとってください。
- 本製品に付属の電池は、保管状態により予想寿命が短いことがあります。
- 長時間リモコンを使用しない場合は、電池を取り外してください。
- 電池を廃棄する際は、必ず関連する地域や国の法律に従ってください。

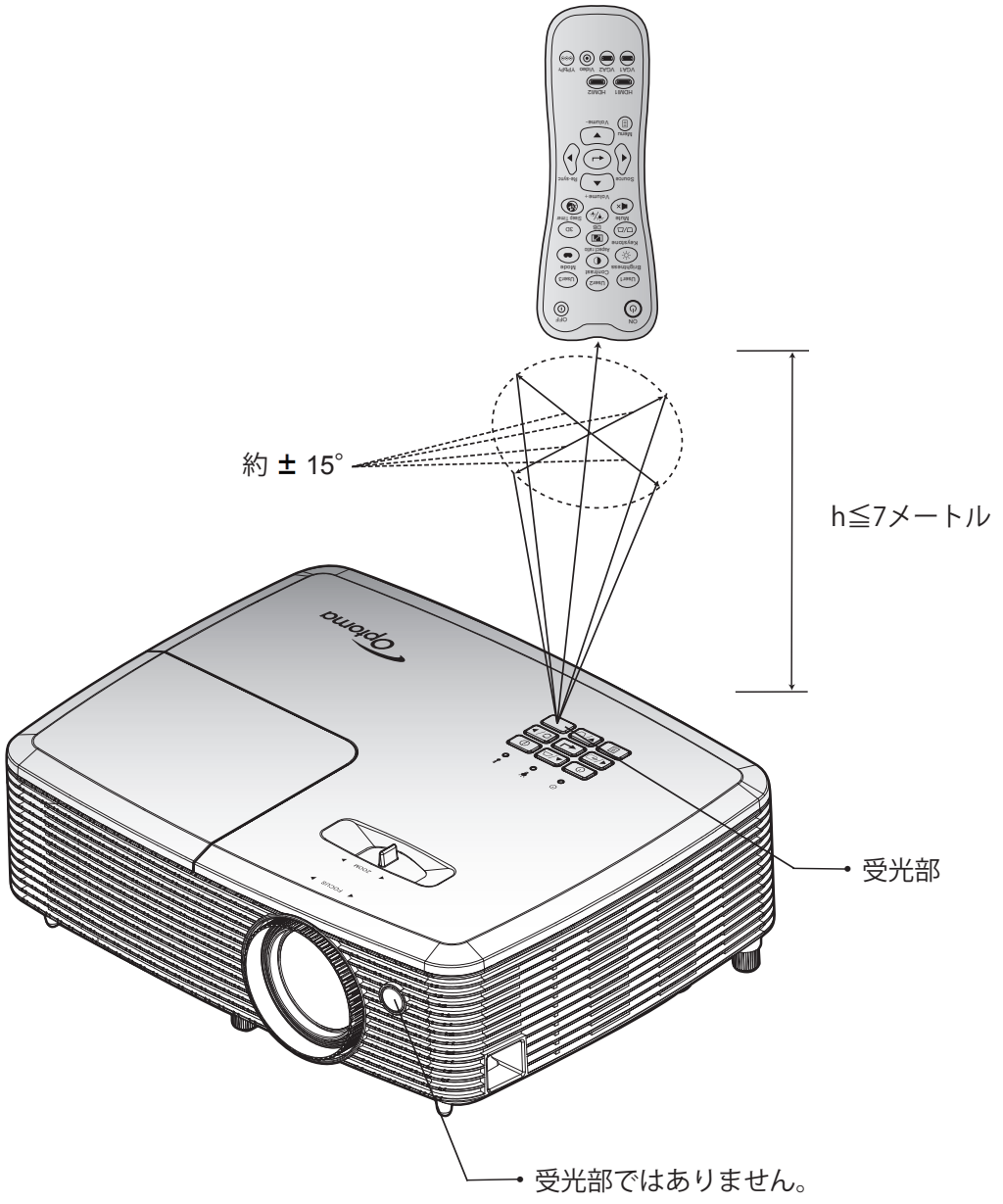
設定と設置

有効範囲

IRレシーバ ー(リモコン受光部)はプロジェクターの上面にあります。プロジェクターの IR リモコンセンサー に対して 30 度以内の角度でリモコンを向けると正常に動作します。リモコンとレシーバーの間の距離(h)は 7メートル (23 フィート)以内にする必要があります。

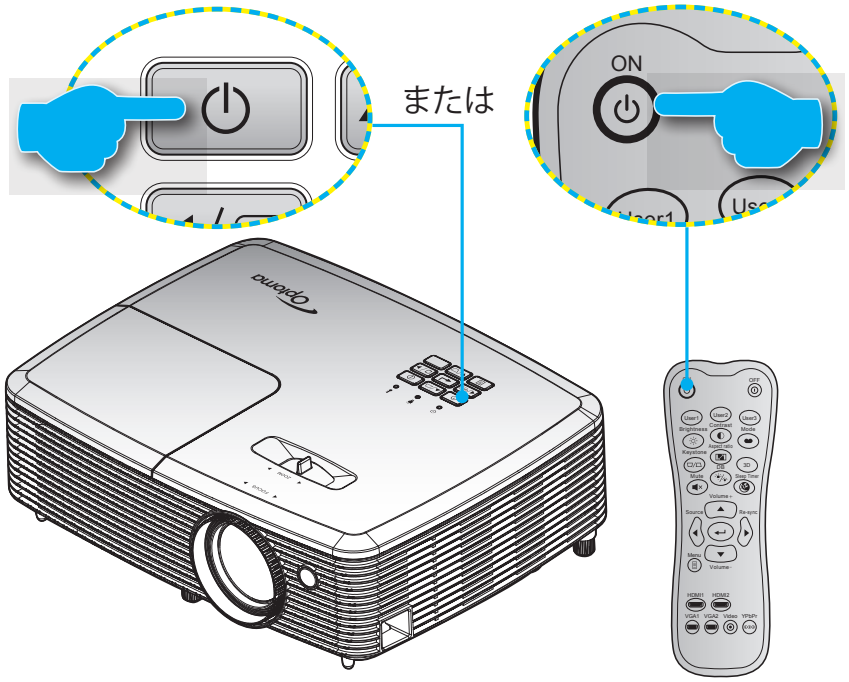
- リモコンとプロジェクターの IRレシーバー の間に赤外線ビームを遮断するような障害物がないことを確認します。
- リモコンの IR 伝送装置に太陽や蛍光灯の光を直接当てないでください。
- リモコンは蛍光灯から 2 メートル以上離さないと誤作動が起こることがあります。
- リモコンがインバータータイプの蛍光灯に近いと、動作しないことがあります。
- リモコンとプロジェクターの距離が近いと、リモコンが動作しないことがあります。
- スクリーンに向けるときは、リモコンからスクリーンまでの有効距離が 5 メートル以内であれば、IR ビームが反射してプロジェクターに届きます。ただし、有効範囲はスクリーンによって変わることがあります。

※　赤外線リモコン作動範囲にご注意下さい。



プロジェクターを使用する

プロジェクターの電源を入れる／切る



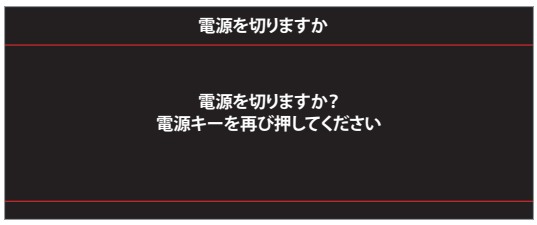
電源オン

1. 電源コードとシグナル／ソースケーブルをしっかりと接続します。
   接続が済むと、オン／スタンバイ LED が赤く点灯します。
2. プロジェクターのキーパッドの「⏻」またはリモコンの「ⓘ」を押し、プロジェクターの電源を入れます。
3. 起動画面が約10 秒後に表示され、オン／スタンバイ LED が 青色に点滅します。

注記 *初めてプロジェクターの電源を入れると、使用言語、投写方向、その他の設定を選択するメッセージが表示されます。*

電源オフ

1. プロジェクターのキーパッドの「⏻」またはリモコンの「ⓘ」を押し、プロジェクターの電源を切ります。
2. 次のメッセージが表示されます。



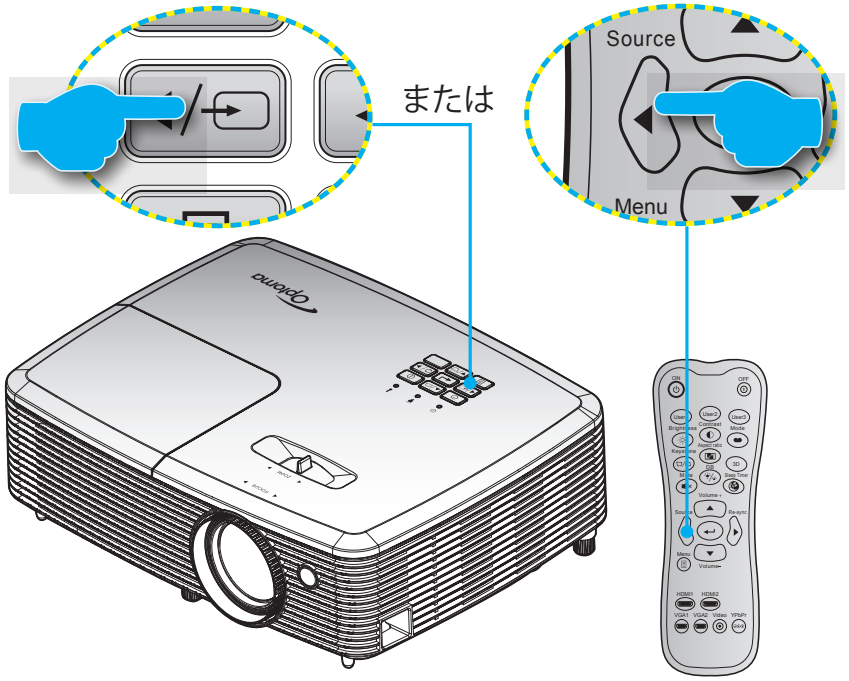
3. 「⏻」 ボタンまたは「ⓘ」を再び押して確認します。ボタンを押さない場合、15 秒後にメッセージが消えます。2 回目に「⏻」または「ⓘ」ボタンを押すと、プロジェクターはシャットダウンします。
4. ①冷却ファンが約10秒間作動し冷却を行います。
   ②オン／スタンバイ LED が青色に点滅します。
   ③オン／スタンバイ LED が赤色に点灯すると、プロジェクターはスタンバイモードに入っています。
   ④プロジェクターの電源を再び入れる場合、冷却サイクルを終了し、スタンバイモードに入るまで待ってから電源を入れてください。
   ⑤プロジェクターがスタンバイモードに入ったら、「⏻」ボタンを押すだけでプロジェクターの電源が再び入ります。
5. 電源コードをコンセントとプロジェクターから抜きます。

注記 *電源を切った直後にプロジェクターの電源を入れないでください。*
電源を入れる場合は、しばらく時間を空けてから電源を入れてください。
電源を切った直後に電源を入れる行為は推奨されません。

設定と設置

入力ソースを選択する

スクリーンに表示する接続ソース（コンピューター、ノートパソコン、ビデオプレーヤーなど）の電源を入れます。プロジェクターは、ソースを自動的に検出します。複数のソースが接続されている場合、プロジェクターのキーパッドまたはリモコンのソースボタンを押し、入力を選択します。

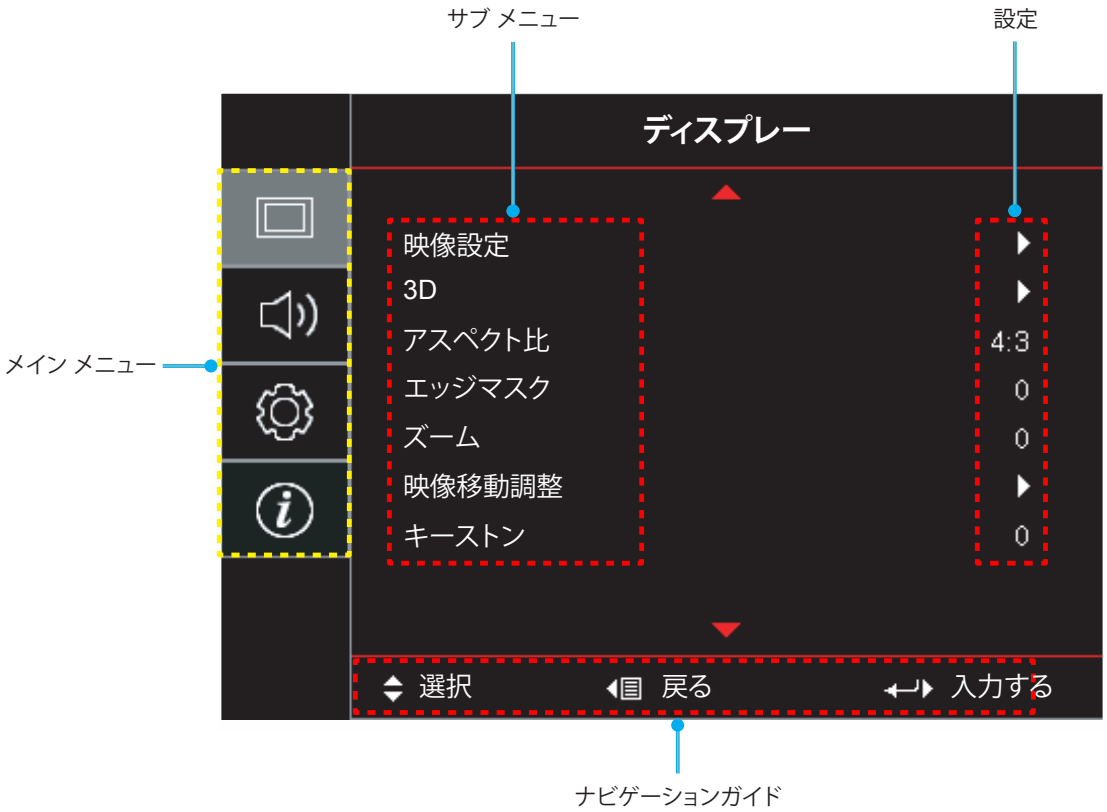


プロジェクターを使用する

メニューナビゲーションと機能

本プロジェクターでは、多言語対応オンスクリーン メニューを使って、画像調整やさまざまな設定の変更を行うことができます。 プロジェクターは、ソースを自動的に検出します。

1. OSD メニューを開くには、リモコンまたはプロジェクターのキーパッドの [☰] ボタンを押します。
2. OSD が表示されたら、▲▼ キーを使ってメインメニューの任意の項目を選択します。特定のページを選択し、[↵] または [▶] キーを押してサブメニューへ進みます。
3. ◀▶ キーを使ってサブメニューで希望のアイテムを選択し、[↵] あるいは [▶] キーを押して詳細設定を表示します。◀▶ キーによって設定を調整します。
4. サブ メニューから次に調整したい項目を選択し、上記手順と同様に設定を調整します。
5. [↵] または [▶] を押すと設定が確定し、 スクリーンはメインメニューに戻ります。
6. 終了するには、もう一度 [☰] を押します。オンスクリーンメニューが終了し、プロジェクターは自動的に新しい設定を保存します。



プロジェクターを使用する

OSD メニューツリー

メインメニュー	サブメニュー	サブメニュー 2	サブメニュー 3	サブメニュー 4	表示または項目
ディスプレー	映像設定	ディスプレーモード			シネマ
					Vivid
					ゲーム
					リファレンス
					ブライト
					ユーザー
					3D
		輝度			-50~50
		コントラスト			-50~50
		シャープネス			1~15
		ガンマ	フィルム		
			ビデオ		
			グラフィック		
			標準 (2.2)		
			1.8		
			2.0		
			2.4		
		色設定	BrilliantColor™		1~10
			色温度 [データモデル]		Warm
					Medium
					クール
					Cold

プロジェクターを使用する

メインメニュー	サブ メニュー	サブメニュー 2	サブメニュー 3	サブメニュー 4	表示または項目
ディスプレー	映像設定	色設定	カラー マッチングー	色の濃さ	赤 [デフォルト]
					緑
					青
					シアン
					黄
					マゼンタ
					白
				色あい	-50～50 [デフォルト: 0]
				彩度	-50～50 [デフォルト: 0]
				ゲイン	-50～50 [デフォルト: 0]
				リセット	キャンセル [デフォルト]
					はい
					戻る
			RGB ゲイン／バイアス	赤ゲイン	-50~50
				緑ゲイン	-50~50
				青ゲイン	-50~50
				赤バイアス	-50~50
				緑バイアス	-50~50
				青バイアス	-50~50
				リセット	キャンセル [デフォルト]
					はい
					戻る
			カラースペース [HDMI 入力]		自動 [デフォルト]
					RGB (0-255)
					RGB (16-235)
					YUV
		Dynamic Black			オフ
					オン

プロジェクターを使用する

メインメニュー	サブメニュー	サブメニュー 2	サブメニュー 3	サブメニュー 4	表示または項目
ディスプレー	映像設定	ブライトネスモード			ブライト[デフォルト]
					エコ
		リセット			キャンセル
					はい
	3D	3Dモード			オフ
					DLP-Link [デフォルト]
					VESA
		3D->2D			3D [デフォルト]
					L
					R
		3D映像フォーマット			自動 [デフォルト]
					Side By Side
					Top and Bottom
					Frame Sequential
		3D同期反転			オン
					オフ [デフォルト]
	アスペクト比				4:3
					16:9
					LBX
					Native
					自動
	映像移動調整	映像水平位置: 0; 映像垂直位置: -50			
		映像水平位置: -50; 映像垂直位置: 0			
		映像水平位置: 50; 映像垂直位置: 0			
		映像水平位置: 0; 映像垂直位置: 50			
		映像水平位置: -50; 映像垂直位置: 0			
		映像水平位置: 0; 映像垂直位置: -50			
		映像水平位置: 50; 映像垂直位置: 0			
		映像水平位置: 0; 映像垂直位置: 50			
	キーストン				-40～ 40 [デフォルト: 0]

プロジェクターを使用する

メイン メニュー	サブ メニュー	サブメニュー 2	サブメニュー 3	サブメニュー 4	表示または項目
オーディオ	ミュート				オフ [デフォルト]
					オン
	音量				0〜10 [デフォルト: 5]
設定	設置モード				正面  [デフォルト]
					リア 
					天井 - 上部 
					リア - 上部 
	ランプ設定	ランプ警告			オフ
					オン [デフォルト]
		ランプリセット			キャンセル [デフォルト]
					はい
	フィルター設定	エアーフィルター使用時間			(読み取り専用)
		エアーフィルター取付			はい
					いいえ
		エアーフィルター寿命			オフ
					300時間
					500時間[デフォルト]
					800時間
					1000時間
		エアーフィルター 使用時間リセット			キャンセル [デフォルト]
					はい
	電源設定	電源検知 オートパワーオン			オフ [デフォルト]
					オン
		信号検知 オートパワーオン			オフ [デフォルト]
					オン
		タイマー電源オートパワーオフ			0〜 180(5分の増分)[デフォルト: 20]
		スリープタイマー	スリープタイマー(分)		0〜 990(30分の増分)[デフォルト: 0]
			常にON		オン
					オフ [デフォルト]
		クイックレジューム			オフ
					オン [デフォルト]
		USB給電			オフ
					オン
					自動
	セキュリティー	セキュリティー			パスワードを入力してください (4桁)
	HDMI LINK設定	HDMI LINK			オン
					オフ
		モニター連動			いいえ
					はい
		電源オン設定			双方向設定
					プロジェクター＞機器
					プロジェクター＜機器
		電源オフ設定			オフ
					オン

プロジェクターを使用する

メインメニュー	サブメニュー	サブメニュー 2	サブメニュー 3	サブメニュー 4	表示または項目
設定	リモコン設定 [リモコンによる]	リモコン受光設定			オン
					オフ
		ユーザー1			HDMI 2
					輝度
					コントラスト
					スリープタイマー
					カラーマッチング
					色温度
					ガンマ
					設置モード
					ランプ設定
					フリーズ
					MHL
		ユーザー2			HDMI 2
					輝度
					コントラスト
					スリープタイマー
					カラーマッチング
					色温度
					ガンマ
					設置モード
					ランプ設定
					フリーズ
					MHL

プロジェクターを使用する

メインメニュー	サブメニュー	サブメニュー ー 2	サブメニュー 3	サブメニュー 4	表示または項目
設定	リモコン設定 [リモコンによる]	ユーザー3			HDMI 2
					輝度
					コントラスト
					スリープタイマー
					カラーマッチング
					色温度
					ガンマ
					設置モード
					ランプ設定
					フリーズ
					MHL
	12Vトリガ				オン
					オフ
	オプション	言語			English [デフォルト]
					Deutsch
					Français
					Italiano
					Español
					Português
					Polski
					Nederlands
					Svenska
					Norsk
					Dansk
					Suomi
					ελληνικά
					繁體中文
					簡体中文
					日本語
					한국어
					Русский
					Magyar
					Čeština
					ไทย
					Türkçe
					Tiếng Việt
					Bahasa Indonesia
					Română
					Slovenčina

プロジェクターを使用する

メインメニュー	サブメニュー	サブメニュー 2	サブメニュー 3	サブメニュー 4	表示または項目
設定	オプション	メニュー設定	メニュー位置		左上
					右上
					中央 [デフォルト]
					左下
					右下
			メニュータイマー		オフ
					5秒
					10秒 [デフォルト]
		Auto Source (オートソース)			オフ [デフォルト]
					オン
		入力ソース			HDMI1
					HDMI 2／MHL
		入力名	HDMI1		デフォルト
					カスタム
			HDMI 2／MHL		デフォルト
					カスタム

プロジェクターを使用する

メインメニュー	サブメニュー	サブメニュー 2	サブメニュー 3	サブメニュー 4	表示または項目
設定	オプション	高地モード			オフ [デフォルト]
					オン
		ディスプレイモードロック			オフ [デフォルト]
					オン
		キーパッドロック			オフ [デフォルト]
					オン
		信号表示			オフ [デフォルト]
					オン
		ロゴ			デフォルト [デフォルト]
					ロゴ無し
		背景色			なし [デフォルト]
					青
					赤
					緑
					グレー
					ロゴ
	リセット	OSDをリセット			キャンセル [デフォルト]
					はい
		初期状態にリセット			キャンセル [デフォルト]
					はい
情報	制御				
	シリアル番号				
	入力ソース				
	解像度				00x00
	リフレッシュレート				0.00Hz
	ディスプレーモード				
	ランプ使用時間	ブライトモード			0 時間
		エコモード			0 時間
		合計時間			
	エアーフィルター時間 ブライトネスモード				
	FWバージョン	システム			
		MCU			

注記

- *OSD内の「ランプリセット」は、OSD 内のランプ使用時間とサービスモードのランプ使用時間の両方のみをリセットします。サービスモードの投写時間はリセットされません。*
- *「リモコン受光設定」、「設置モード」、または、「キーパッドロック」機能を変更すると、確認メッセージが画面上に表示されます。「はい」を選択して、設定を保存します。*
- *各ディスプレーモードを調整し、値を保存することができます。*

プロジェクターを使用する

ディスプレーメニュー

表示画像設定メニュー

ディスプレーモード

さまざまな映像タイプに合わせて、いくつかのプリセット設定が用意されています。

- **シネマ**: ホームシアターの場合、このモードを選択します。
- **Vivid**: このモードでは、彩度と輝度のバランスがうまくとられます。
  ゲームプレー用にこのモードを選択してください。
- **ゲーム**: ビデオゲームを楽しむために、このモードを選択して、明るさを増やし、応答時間レベルを上げます。
- **リファレンス**: カラー、色温度、コントラスト、γ設定はすべてデフォルト値 に設定されます。
  動 画を見るにはこのモードを選択します。
- **ブライト**: PC入力に対する最大輝度。
- **ユーザー**: ユーザー設定を保存します。

輝度

画像の輝度を調整します。

コントラスト

コントラストは、画像や画像の最暗部 (黒) と最明部 (白) の差の度合いを調整します。

シャープネス

画像のシャープネスを調整します。

ガンマ

γカーブタイプを設定します。
初期セットアップと微調整が完了したら、γ調整ステップを利用して画像出力を最適化します。

- **フィルム**: ホーム シアター用。
- **ビデオ**: ビデオまたは TV ソース用。
- **グラフィック**: PC／フォトソース用。
- **標準(2.2)**: 標準化された設定用。
- **1.8／2.0／2.4**: 特定の PC／フォトソース用。

プロジェクターを使用する

色設定

色設定を行います。

- **BrilliantColor™**: 新しいカラー処理アルゴリズムとエンハンスメントを利用して高い輝度を可能にしながら、画像に真の、鮮やかなカラーを実現します。
- **色温度 (データモードのみ)**: Warm、 標準、 Cool、またはColdから色温度を選択します。
- **カラーマッチング**: 次のオプションを選択します:
  - ※ 色の濃さ: 画像の赤 (R)、緑 (G)、青 (B)、シアン (C)、黄 (Y)、マゼンタ (M)、および白 (W) レベルを調整します。
  - ※ 色あい: 赤と緑のカラーバランスを調整します。
  - ※ 彩度: ビデオ画像を、白黒から完全飽和色まで調整します。
  - ※ ゲイン: 画像の明るさを調整します。
  - ※ リセット: カラーマッチングを工場出荷時デフォルト設定に戻します。
  - ※ 戻る:「カラーマッチング」メニューを終了します。
- **RGBゲイン／バイアス:** この設定でイメージの輝度 (ゲイン) とコントラスト (バイアス) を構成できます。
  - ※ リセット: RGB ゲイン／バイアスを工場出荷時デフォルト設定に戻します。
  - ※ 戻る: 「RGBゲイン／バイアス」メニューを終了します。
- **カラースペース (HDMI 入力のみ)**: 以下から適切なカラーマトリックスタイプを選択します。「自動」、「RGB (0-255)」、「RGB (16-235)」、および「YUV」。

Dynamic Black

Dynamic Blackにより、プロジェクターは暗い／明るい映画のシーンで細部まではっきり表示できるようにディスプレイの輝度を自動的に最適化します。

ブライトネスモード

プロジェクターのブライトネスモード設定を調整します。

- **ブライト**:「ブライト」を選択すると明るさが増します。
- **エコ**: 「エコ」を選択するとプロジェクターランプの光量を減らして電源消費量を少なくし、寿命を延長することができます。

リセット

色設定を工場出荷時デフォルト設定に戻します。

ディスプレーの 3D メニュー

3D: 3D効果を体験するには、3D 眼鏡を用意する必要があります。
ご使用の PC／ポータブル機器が 120Hz 信号出力クワッドバッファ対応グラフィックカードを装備し、3Dプレーヤーがインストールされていることをご確認ください。

3Dモード

このオプションを使って、3D 機能を無効にするか、適切な 3D 機能を選択します。

- **オフ**:「オフ」を選択すると、3D モードがオフになります。
- **DLP Link**: 選択して DLP 3D 眼鏡の最適化された設定を使用します。
- **VESA**:「VESA」を選択して VESA 3D 眼鏡の最適化された設定を使用します。

プロジェクターを使用する

3D->2D

このオプションを使って、画面に 3D コンテンツを表示する方法を指定します。

- **3D**: 3D信号を表示します。
- **L (左)**: 3D コンテンツの左フレームを表示します。
- **R (右)**: 3D コンテンツの右フレームを表示します。

3D映像フォーマット

このオプションを使って、適切な 3D フォーマットのコンテンツを選択します。

- **自動**: 3D 識別信号を検出すると、3D 映像フォーマットが自動的に選択されます。
- **Side By Side**:「サイドバイサイド」フォーマットで 3D 信号を表示します。
- **Top and Bottom**: 3D 信号を「トップ アンド ボトム」フォーマットで表示します。
- **Frame Sequential**: 3D 信号を「フレームシーケンシャル」フォーマットで表示します。

3D同期反転

このオプションを使って、3D 同期反転機能を有効／無効にします。

アスペクト比メニューの表示

アスペクト比

次のオプションから、表示される画像のアスペクト比を選択します:

- **4:3**: このフォーマットは、4:3 入力ソース用です。
- **16:9**: ワイド スクリーン テレビのために用意される高画質のHDTVやDVDのような 16:9 入力用です。
- **LBX** : 16x9 ではないレターボックスソースを投影する場合や、外部 16x9 レンズを使用して画像を 2.35:1 アスペクト比で最大解像度により投影する場合に選択します。
- **Native**: このフォーマットは、スケーリングなしでオリジナルの画像を表示します。
- **自動**: 適切なディスプレイフォーマットを自動的に選択します。

注記

- *LBXモードに関する詳細情報:*
  - ※ *一部のレターボックスフォーマット DVD には、16x9 TV のために用意されていないものもあります。この場合、16:9 モードのイメージは正しく表示されません。4 : 3モードを使って DVD を表示してください。コンテンツが 4:3 ではない場合、16:9 ディスプレーの画像の周りに黒いバーが表示されます。このタイプのコンテンツの場合、LBX モードを使って 16:9 ディスプレーに画像を合わせることができます。*
  - ※ *外部アナモルフィックレンズを使用する場合：*
    この LBX モードによりアナモフィックワイドをサポートする 2.35:1 コンテンツ (アナモフィック DVD と HDTV フィルムソースを含む) を視聴することも可能で、ワイド 2.35:1 画像では 16x9 ディスプレーに対して機能強化されています。こうすれば黒いバーは表示されなくなります。ランプ電源と垂直方向の解像度がフル活用されます。

プロジェクターを使用する

1080 スケーリングテーブル:

16:9 画面	480i／p	576i／p	1080i／p	720p	PC
4x3	1440x1080 にスケーリングします。				
16x9	1920x1080 にスケーリングします。				
LBX	1920x1440 にスケーリングし、その後、中央の 1920x1080 画像を表示します。				
Native	1:1 中央にマッピング。 スケーリングを行わず、入力ソースに基づく解像度で画像を表示します。				

表示画像シフトメニュー

映像移動調整

投影される画像位置を水平 (映像水平位置) または垂直 (映像垂直位置) に調整します。

表示キーストンメニュー

キーストン

プロジェクターを斜め方向から投写することにより生じる、画像のゆがみを調整します。

プロジェクターを使用する

オーディオメニュー

オーディオミュートメニュー

ミュート

このオプションを使って、一時的に音声をオフに切り替えます。

- **オン**:「オン」を選択すると消音が有効になります。
- **オフ**:「オフ」を選択すると消音が無効になります。

注記 *「ミュート」機能は、内蔵および外付けスピーカーの音量に影響を与えます。*

オーディオボリュームメニュー

音量

音量レベルを調整します。

設定メニュー

投影設定メニュー

設置モード

床置きフロント投写・天吊りフロント投写・床置きリア投写・天吊りリア投写からお好みの投影を選択します。

ランプ設定メニュー

ランプ警告

ランプ交換メッセージが表示されたときに、警告メッセージの表示／非表示を設定します。
メッセージは、推奨されるランプの交換の約30時間前から表示されます。

ランプリセット

ランプ交換後、ランプの寿命カウンタをリセットする際に使用します。

フィルター設定メニュー （※フィルターはオプション品です。）

エアーフィルター使用時間

エアーフィルター使用時間を表示します。

エアーフィルター取付

警告メッセージを設定します。

- **はい**: 使用時間が500 時間を超えると警告メッセージが表示されます。

注記 *「エアーフィルター使用時間／エアーフィルター寿命／エアーフィルター使用時間リセット」は、「エアーフィルター取付」が「はい」のときにのみ表示されます。*

- **いいえ**: 警告メッセージをオフにします。

エアーフィルター寿命

フィルター交換メッセージが表示されたときに、警告メッセージの表示／非表示を設定します。
利用可能なオプションは、 300時間、 500時間、 800時間、および1000時間です。

エアーフィルター使用時間リセット

エアーフィルターを交換または洗浄した後、エアーフィルター使用時間をリセットしてください。

プロジェクターを使用する

電源設定メニュー

電源検知オートパワーオン

「オン」を選択すると、電源探知オートパワーオンモードが有効になります。プロジェクターは、AC 電源が供給されると自動的に電源オンになります。プロジェクターのキーパッドまたはリモコンの「電源」キーを押す必要はありません。

信号検知オートパワーオン

「オン」を選択すると、信号電源モードが有効になります。プロジェクターは、信号が検出されると自動的に電源オンになります。プロジェクターのキーパッドまたはリモコンの「電源」キーを押す必要はありません。

注記 *「信号検知オートパワーオン」オプションが「オン」に切り替えられている場合、待機モードでのプロジェクターの消費電力は 3W を超えます。*

タイマー電源オートパワーオフ

オートパワーオフの時間を設定します。オートパワーオフは、プロジェクターへの入力信号が途切れると、カウントダウンを開始します。カウントダウンが終了すると、自動的にプロジェクターの電源が切れます(単位は分です)。

スリープタイマー(分)

スリープタイマーを設定します。

- **スリープタイマー(分)**: カウントダウンタイマーの時間を設定します。カウントダウンタイマーは、プロジェクターへの入力信号の有無に関わらず、カウントダウンを開始します。カウントダウンが終了すると、自動的にプロジェクターの電源が切れます(単位は分です)。

  注記 *スリープタイマーは、プロジェクターを電源オフにするたびにリセットされます。*
- **常にON**: スリープタイマーが常にONに設定されていることを確認します。

クイックレジューム

クイックレジュームを設定します。

- **オン**: プロジェクターが偶発的にオフになってしまった場合、100秒以内に選択すれば、この機能を介してプロジェクターの電源を直ちにオンにすることができます。
- **オフ**: プロジェクターをオフにすると、システムは10秒後に冷却を開始します。

USB給電

USB 電源を設定します。

- **オフ**: USB 電源機能を無効にします。
- **オン**: USB 電源機能を有効にします。
- **自動**: デバイスが USB 電源出力 (5V⎓1A) コネクターに接続されると、USB 電源機能が自動的に有効になります。

セキュリティー設定メニュー

セキュリティー

プロジェクターを使用する前にパスワード入力を求めるようにするには、この機能を有効にします。

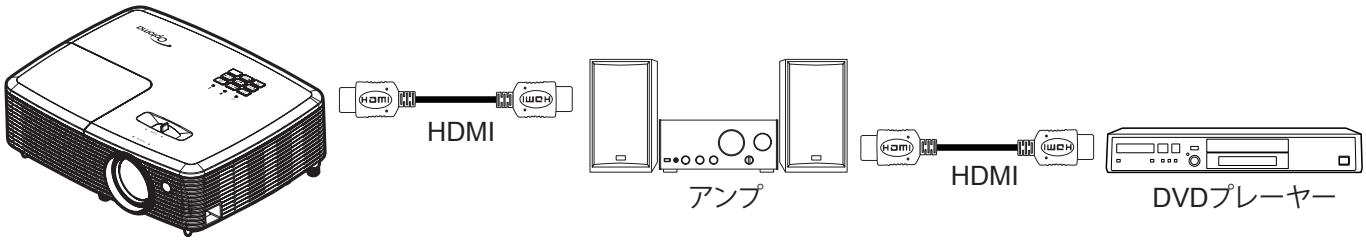
※ 詳細はP.49を参照してください。

プロジェクターを使用する

HDMI Link 設定メニューの設定

注記

- HDMIケーブルで HDMI CEC 互換デバイスをプロジェクターに接続するとき、プロジェクターの OSDメニューでHDMI Link コントロール機能を使い同じ電源オンまたは電源オフ状態でコントロールできます。
  これにより、1 台のデバイスまたはグループの複数のデバイスが HDMI Link 機能経由で電源オンまたは電源オフにすることができます。
  一般設定の場合、DVD プレーヤーはアンプまたはシアターシステムを通してプロジェクターに接続されます。



HDMI Link

HDMI Link 機能の有効と無効を切り替えます。モニター連動、電源オンリンク、電源オフリンクオプションは設定が「オン」に設定されている場合のみ使用できます。

モニター連動

テレビとプロジェクターを同時に自動的にオフする場合は、「はい」に設定します。両方のデバイスが同時にオフにならないように、設定を「いいえ」にします。

電源オン設定

CEC 電源オンコマンドを次のオプションから選択します:

- **双方向設定**: プロジェクターと CEC デバイスが両方同時にオンになります。
- **プロジェクター ー> 機器:** プロジェクターがオンになった後でのみ、CEC デバイスのスイッチがオンになります。
- **機器 ー> プロジェクター**: CEC デバイスがオンになった後でのみ、プロジェクターのスイッチがオンになります。

電源オフ設定

この機能を有効にして、HDMI Link とプロジェクターの両方を同時に自動的にオフにします。

リモート設定メニュー

リモコン受光設定

リモコン受光設定を行います。

- **オン**:「オン」を選択すると、上部 IR レシーバーからリモコンでプロジェクターを操作できます。
- **オフ**:「オフ」を選択すると、上部 IR レシーバーからリモコンでプロジェクターを操作できません。
  「オフ」を選択すると、キーパッドのキーを使用できるようになります。

ユーザー1／ユーザー2／ユーザー3

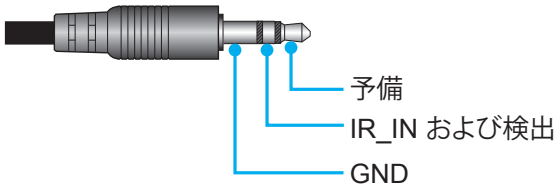
ユーザー1、ユーザー2、またはユーザー3に対するデフォルト機能を HDMI 2、輝度、コントラスト、スリープタイマー、カラーマッチング、色温度、ガンマ、設置モード、ランプ設定、フリーズ、および MHL から割り当てます。

プロジェクターを使用する

12V トリガーメニューの設定

12Vトリガ

この機能を使って、トリガを有効または無効にします。



- オフ:「オフ」を選択するとトリガが無効になります。
- オン:「オン」を選択するとトリガが有効になります。

オプション設定メニュー

言語

多言語 OSD メニューを英語、ドイツ度、フランス語、イタリア語、スペイン語、ポルトガル語、ポーランド語、オランダ語、スウェーデン語、ノルウェー語、デンマーク語、フィンランド語、ギリシャ語、繁体字中国語、簡体字中国語、日本語、韓国語、ロシア語、ハンガリー語、チェコスロバキア語、アラビア語、タイ語、トルコ語、ペルシア語、ベトナム語、インドネシア語、ルーマニア語、およびスロバキア語から選択します。

メニュー設定

画面上のメニュー位置を設定し、メニュータイマーを設定します。

- **メニュー位置**: スクリーン上に表示されるメニューの位置を選択します。
- **メニュータイマー**: OSD メニューが画面上に表示される時間を設定します。

Auto Source（オートソース）

利用可能な入力ソースをプロジェクターに自動検出させるには、このオプションを選択します。

入力ソース

入力ソースとして HDMI1 または HDMI2／MHL を選択します。

入力名

簡単に特定できるよう入力機能の名前を変更するために使用します。 選択肢には HDMI1 と HDMI2／MHL があります。

高地モード

「オン」が選択されると、ファンがより高速に回転します。この機能は、高度が高く、空気の濃度が低い環境に便利です。

ディスプレーモードロック

「オン」または「オフ」を選択し、表示モード設定の調整をロックまたはロック解除します。

キーパッドロック

キーパッドロック機能が「オン」である時、キーパッドがロックされます。しかし、リモコンでプロジェクターを操作できます。「オフ」を選択すると、キーパッドを再び使用できるようになります。

信号表示

この機能を有効にして、情報メッセージを非表示にします。

- **オン**:「オン」を選択すると、情報メッセージが非表示になります。
- **オフ**:「オフ」を選択すると、「検索中」メッセージが表示されます。

プロジェクターを使用する

ロゴ

この機能を使って希望のスタートアップスクリーンを設定します。
設定を変更した場合、次に電源を入れたときから新しい設定が適用されます。

- **デフォルト**: デフォルトの起動画面です。
- **ロゴ無し**: ロゴは起動画面に表示されません。

背景色

信号が利用できない場合、この機能を使って、青、赤、緑、グレー、なし、またはロゴ画面を表示します。

リセット OSD メニューの設定

OSDをリセット

OSD メニューの設定を工場出荷時デフォルト設定に戻します。

初期状態にリセットメニューの設定

初期状態にリセット

すべての設定を工場出荷時の初期設定に戻します。

情報メニュー

情報メニュー

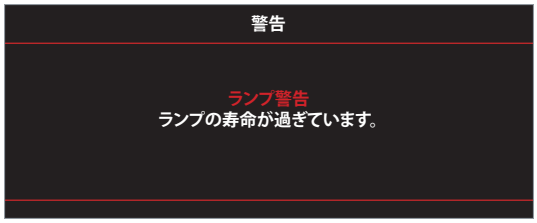
以下のプロジェクター情報を表示します:

- 制御
- シリアル番号
- 入力源
- 解像度
- リフレッシュ レート
- ディスプレーモード
- ランプ使用時間
- エアーフィルター時間
- ブライトネスモード
- FW バージョン

保守管理

ランプの交換

プロジェクターはランプの寿命を自動的に検出します。ランプの寿命に近づくと、画面に警告メッセージが表示されます。



このメッセージが表示されたら、できる限り速やかに最寄りの販売店またはコンタクトセンターに連絡して、ランプを交換してください。ただし、ランプを交換する前に、プロジェクター本体が十分に冷えるまで最低 30 分お待ちください。



⚠ 警告

注意

天上から吊り下げている場合、ランプアクセスパネルを開けるときは注意してください。
天井から吊り下げている状態で電球を交換する場合、安全メガネを着用することをお勧めします。
プロジェクターからゆるんだ部品が落下し怪我をする可能性があります。

必ず実行

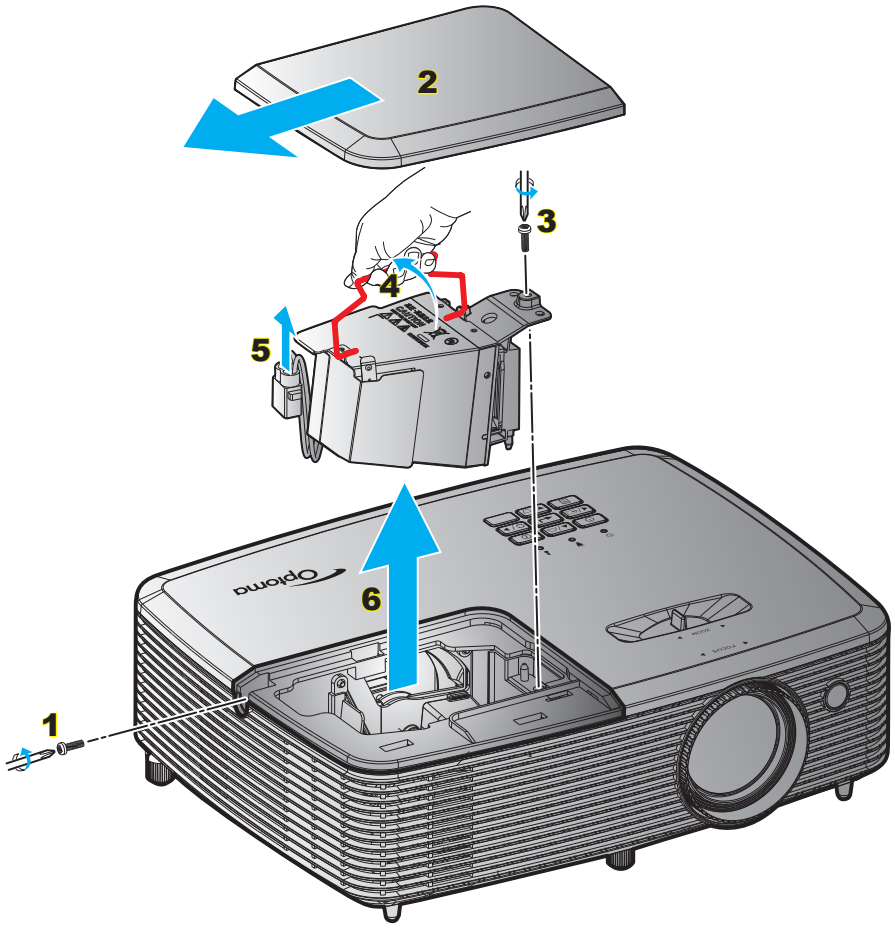
ランプコンパートメントは熱くなっています。ランプが十分に冷めてから交換してください。

注意

ランプを落下させたり、ランプのバルブに触れないようご注意ください。
バルブが落下すると粉々に砕けて飛び散り、怪我をする恐れがあります。

保守管理

ランプの交換 (続き)



手順

1. リモコンまたはプロジェクターのキーパッドにある [⏻] ボタンを押してプロジェクターの電源をオフにします。
2. ランプが十分に冷めるまで約30分間お待ちください。
3. 電源コードを外します。
4. カバーにあるネジをゆるめます。**1**
5. カバーを取り外します。**2**
6. ランプモジュールにあるネジをゆるめます。**3**
7. ランプハンドルを持ち上げます。**4**
8. ランプコードを取り外します。**5**
9. ランプモジュールを慎重に取り外します。**6**
10. ランプモジュールを交換し、上記の手順と逆の手順で取り付けます。
11. プロジェクターの電源をオンにし、ランプのタイマーをリセットします。
12. ランプリセット: ① [メニュー] を押す →② [設定] を選択する→ ③ [ランプ設定] を選択する→ ④ [ランプリセット] を選択する→ ⑤ [はい] を選択する。

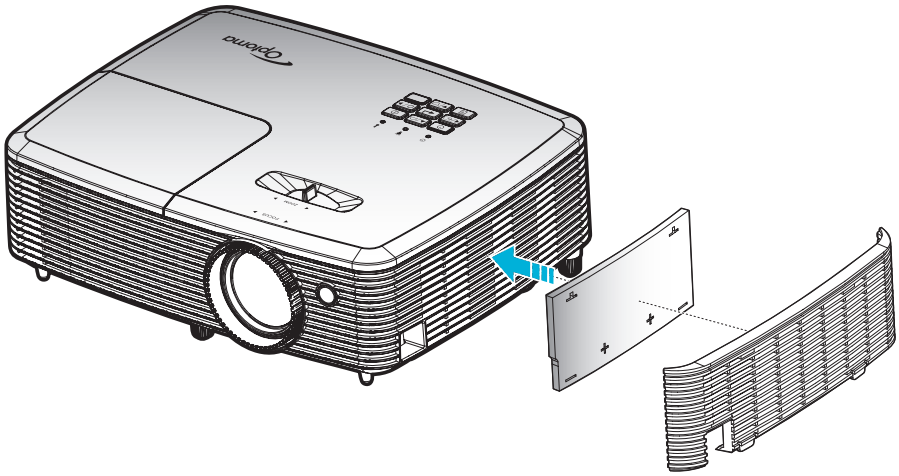
注記

- ランプカバーとランプに付いたネジを外すことはできません。
- プロジェクターにランプカバーが戻されなかった 場合、プロジェクターは動作しません。
- ランプのガラス部分には、触れないようにしてください。
  手の油分が付着すると、ランプが破裂する恐れがあります。
  誤ってガラス部分に触れてしまった場合は、乾いた布を使ってランプモジュールを拭いてください。

保守管理

エアーフィルターの取り付けと洗浄（※フィルタはオプションです。）

エアーフィルターの取り付け

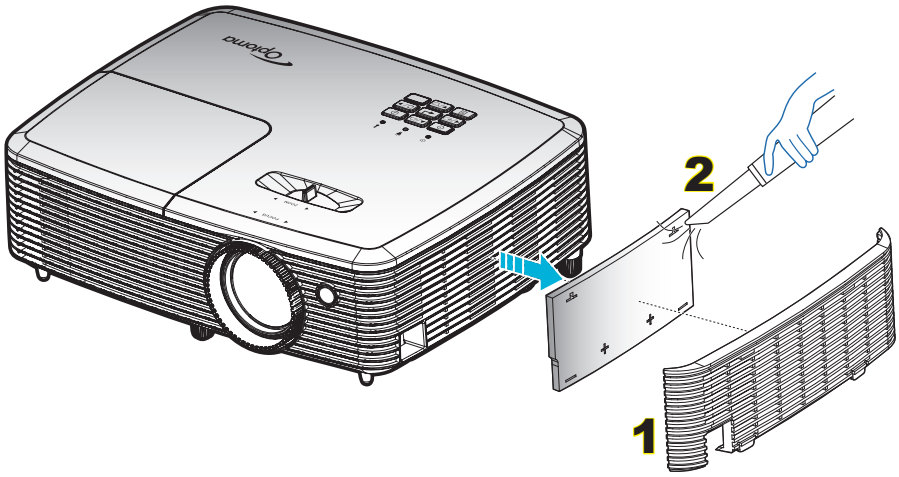


エアーフィルターの洗浄

エアーフィルターを3ヶ月ごとに洗浄することをお勧めします。
埃の多い環境でプロジェクターを使用する場合は洗浄の頻度を多くしてください。

手順:

1. プロジェクターのキーパッドにある「⏻」ボタンを押すか、リモコンの「⏻」ボタンを押し、プロジェクターの電源をオフにします。
2. 電源コードを外します。
3. エアーフィルターを注意深く取り外します。**1**
4. エアーフィルターを掃除または交換してください。**2**
5. エアーフィルターを取り付けるには、上記と逆の手順で取り付けます。



追加情報

対応解像度

デジタル互換性

B0/確立タイミング	B0/標準タイミング	B0/詳細タイミング	B1/ビデオモード	B1/詳細タイミング
720x400 @ 70Hz	1280x720 @ 60Hz	ネーティブタイミング:	640x480p @ 60Hz	720x480p @ 60Hz
640x480 @ 60Hz	1280x800 @ 60Hz	XGA: 1024x768 @ 60Hz	720x480p @ 60Hz	1280x720p @ 60Hz
640x480 @ 67Hz	1280x1024 @ 60Hz	WXGA: 1280x800 @ 60Hz	1280x720p @ 60Hz	1366x768 @ 60Hz
640x480 @ 72Hz	1400x1050 @ 60Hz	1080P: 1920x1080 @ 60Hz	1920x1080i @ 60Hz	1920x1080i @ 50Hz
640x480 @ 75Hz	1600x1200 @ 60Hz		720(1440)x480i @ 60Hz	1920x1080p @ 60Hz
800x600 @ 56Hz	1440x900 @ 60Hz		1920x1080p @ 60Hz	
800x600 @ 60Hz	1280x720 @ 120Hz		720x576p @ 50Hz	
800x600 @ 72Hz	1024x768 @ 120Hz		1280x720p @ 50Hz	
800x600 @ 75Hz			1920x1080i @ 50Hz	
832x624 @ 75Hz			720(1440)x576i @ 50Hz	
1024x768 @ 60Hz			1920x1080p @ 50Hz	
1024x768 @ 70Hz			1920x1080p @ 24Hz	
1024x768 @ 75Hz			1920x1080p @ 30Hz	
1280x1024 @ 75Hz				
1152x870 @ 75Hz				

True 3D ビデオ互換性

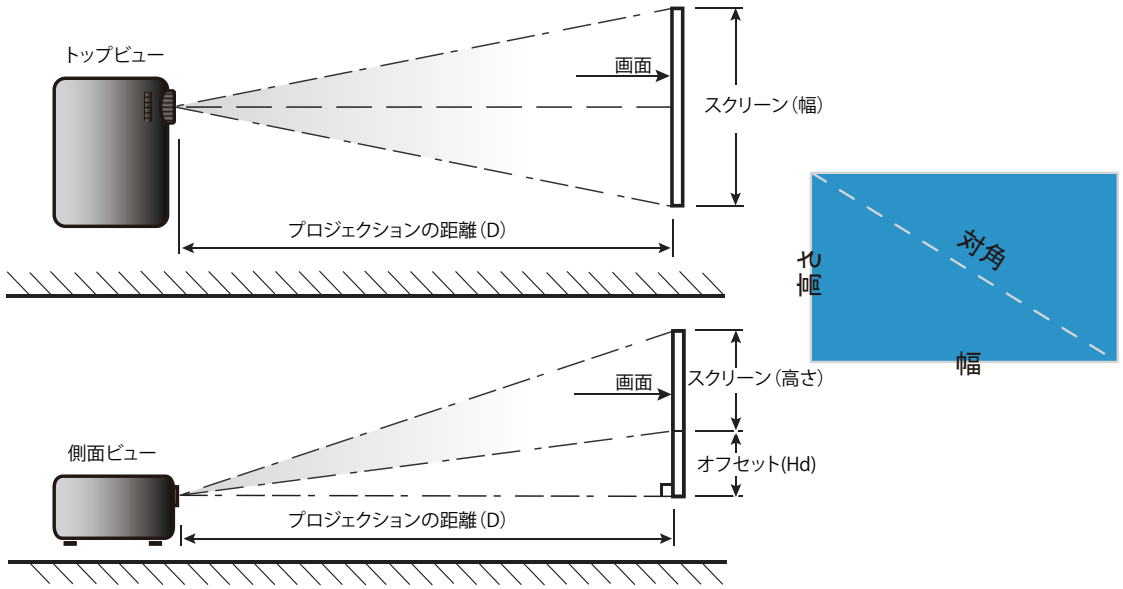
入力解像度	HDMI 1.4a 3D 入力	入力タイミング		
		1280x720P @ 50Hz	トップ アンド ボトム	
		1280x720P @ 60Hz	トップ アンド ボトム	
		1280x720P @ 50Hz	フレームパッキング	
		1280x720P @ 60Hz	フレームパッキング	
		1920x1080i @ 50 Hz	サイドバイサイド(ハーフ)	
		1920x1080i @ 60 Hz	サイドバイサイド(ハーフ)	
		1920x1080P @ 24 Hz	トップ アンド ボトム	
		1920x1080P @ 24 Hz	フレームパッキング	
	HDMI 1.3	1920x1080i @ 50Hz	サイドバイサイド(ハーフ)	SBS モードがオン
		1920x1080i @ 60Hz		
		1280x720P @ 50Hz		
		1280x720P @ 60Hz		
		1920x1080i @ 50Hz	最上部から底部まで	TAB モードがオン
		1920x1080i @ 60Hz		
		1280x720P @ 50Hz		
		1280x720P @ 60Hz		
		480i 1024x768 @ 120Hz 1280x720 @ 120Hz	HQFS	3Dフォーマットは フレームシーケンシャル

注記

- 3D 入力が 1080p@24Hz である場合、DMD を 3D モードの整数倍で再生する必要があります。
- 1080i@25Hz および 720p@50Hz は 100 Hz、他の 3D タイミングは 120Hz で動作します。
- 1080p@24Hz は、144Hz で動作します。

追加情報

イメージサイズと投写距離



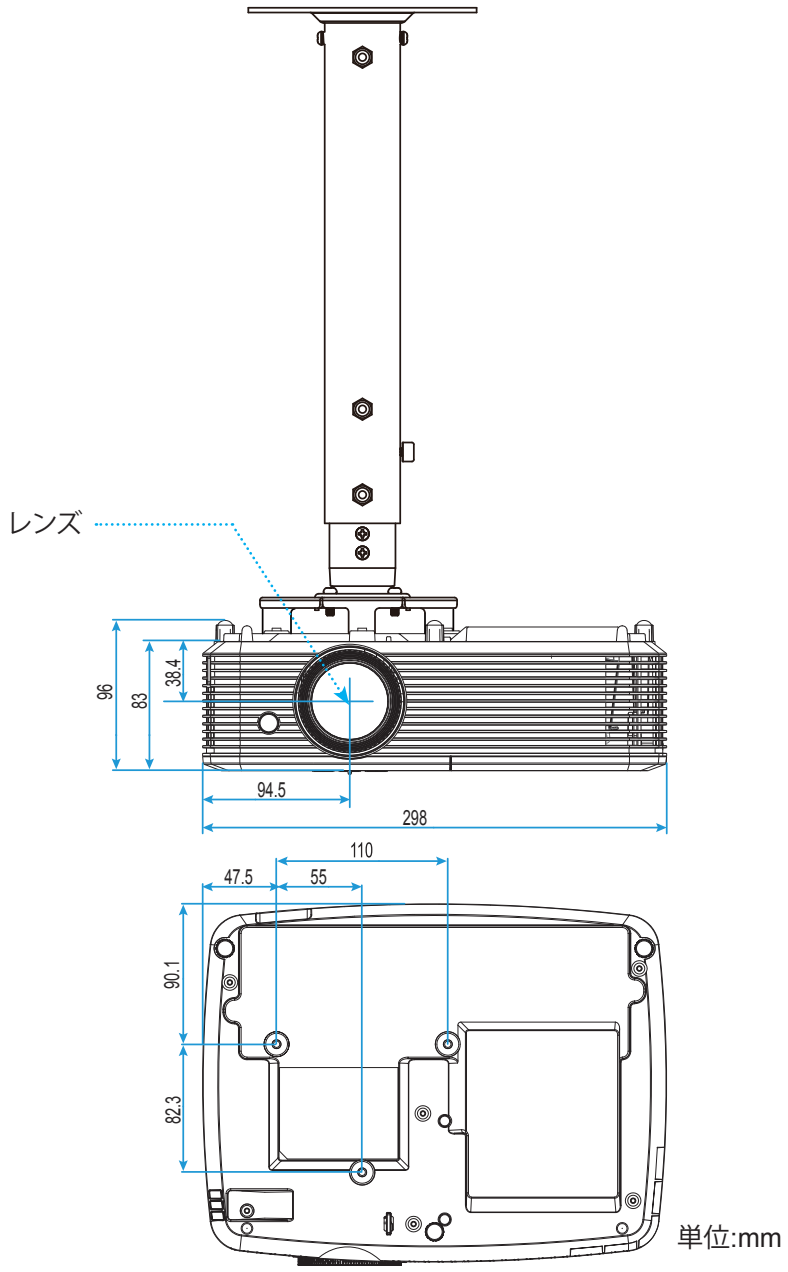
画面サイズ 16:9(HD)	イメージサイズ幅 x 高さ (m)		投写距離（D） (m)		オフセット(Hd)
	幅(W)	高さ(H)	最短(ワイド)	最長(テレ)	(m)
40	0.89	0.50	1.31	1.43	0.08
60	1.33	0.75	1.97	2.15	0.12
70	1.55	0.87	2.29	2.51	0.14
80	1.77	1.00	2.62	2.87	0.16
90	1.99	1.12	2.95	3.23	0.18
100	2.21	1.25	3.28	3.59	0.20
120	2.66	1.49	3.93	4.3	0.24
150	3.32	1.87	4.91	5.38	0.30
180	3.98	2.24	5.9	6.46	0.36
200	4.43	2.49	6.55	7.17	0.40
250	5.53	3.11	8.19	8.97	0.50
300	6.64	3.74	9.83	10.76	0.60

注記 *ズーム比は 1.1x です。*

追加情報

プロジェクターの寸法と天井取り付け

- 他社製の天吊りキットをご利用になる場合は、プロジェクターを取り付けるネジが以下の仕様に適合していることを必ず確認してくださ い。
  - ネジの種類: M4*3
  - 最小ネジ長: 10mm



単位:mm

注記 *プロジェクターを正しく取り付けていないことが原因で発生した損傷に関しましては、保証は無効となります。予めご了承ください。*

⚠ 警告

必ず実行

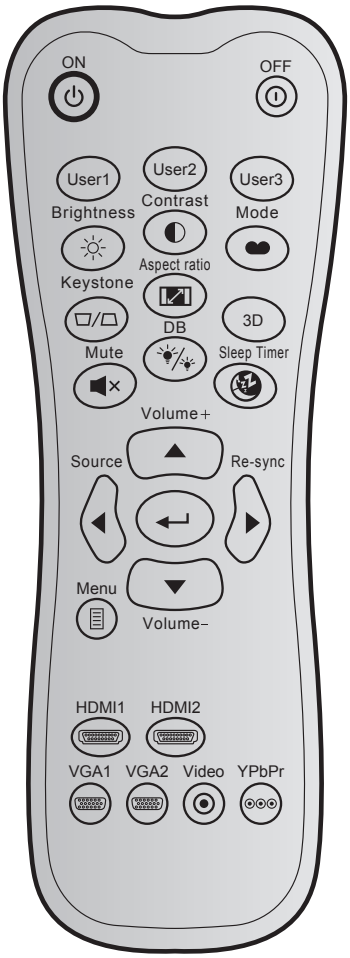
他社製の天吊りキットをお求めになる場合、必ずネジのサイズが正しいことをご確認ください。ネジのサイズは、天吊りプレートの厚みによって異なります。

プロジェクターの底部と天井の間には、少なくとも 10 cm の隙間が開くようにしてください。

プロジェクターは、熱源の近くに設置しないでください。

追加情報

IR リモコン



キー		カスタムコード		データコード	印刷キーの定義	説明
		バイト 1	バイト 2	バイト 3		
電源オン	⏻	32	CD	02	オン	押すとプロジェクターの電源がオンになります。
電源オフ	⏼	32	CD	2E	オフ	押すとプロジェクターの電源がオフになります。
ユーザー 1		32	CD	36	ユーザー1	ユーザー定義キー。設定については *35* ページをご参照ください。
ユーザー 2		32	CD	65	ユーザー2	
ユーザー 3		32	CD	66	ユーザー3	
輝度	☼	32	CD	41	輝度	画像の輝度を調整します。
コントラスト	◐	32	CD	42	コントラスト	映像の最暗部（黒）と最明部（白）の差の度合いを調整します。
ディスプレーモード	⬬	32	CD	05	モード	さまざまなアプリケーションの最適設定を行う場合、ディスプレーモードを選択してください。*29* ページを参照してください。
キーストン	⏢/⏢	32	CD	07	キーストン	プロジェクターを斜め方向から投写することにより生じる、画像のゆがみを調整します。
アスペクト比	⛶	32	CD	64	アスペクト比	これを押すと、表示画像のアスペクト比を変更できます。

追加情報

キー		カスタムコード		データコード	印刷キーの定義	説明
		バイト 1	バイト 2	バイト 3		
3D 設定		32	CD	89	3D 設定	3Dコンテンツに一致する3D モードを手動で選択します。
ミュート		32	CD	52	ミュート	一時的に音声のオン／オフを切り換えることができます。
DB (Dynamic Black)		32	CD	44	DB	最適のコントラストパフォーマンスを発揮できるように、画像の輝度を自動的に調整します。
スリープタイマー		32	CD	63	スリープタイマー	カウントダウンタイマーの時間を設定します。
音量 ＋		32	CD	09	音量 +	調整して、音量を上げます。
4 方向キー		32	CD	11	▲	▲、◄、►、▼ ボタンを使用して項目を選択したり、選択に合わせて調整を行います。
		32	CD	10	◄	
		32	CD	12	►	
		32	CD	14	▼	
入力ソース		32	CD	18	入力ソース	「Source」を押して入力信号を選択します。
エンターキー		32	CD	0F		選択した項目を確定します。
再同期		32	CD	04	再同期	プロジェクターが自動的に入力ソースと同期します。
音量 －		32	CD	0C	音量 -	調整して、音量を下げます。
メニュー		32	CD	0E	メニュー	プロジェクターのオンスクリーン表示メニューを表示したり終了したりします。
HDMI 1		32	CD	16	HDMI1	「HDMI1」を押してHDMI 1 コネクタからソースを選択します。
HDMI 2		32	CD	30	HDMI2	「HDMI2」を押してHDMI 2 / MHLコネクタからソースを選択します。
VGA 1		32	CD	1B	VGA1	機能なし
VGA 2		32	CD	1E	VGA2	機能なし
ビデオ		32	CD	1C	ビデオ	機能なし
YPbPr		32	CD	17	YPbPr	機能なし

追加情報

トラブルシューティング

プロジェクターに問題が発生した場合は、以下をご参照ください。
それでも問題が解決しない場合、最寄りの販売店またはコンタクトセンターにお問い合わせください。

画像の問題

画面に画像が表示されない

- すべてのケーブルと電源が、「設置方法」の章に記載されている手順どおりに正しく接続されていることを確認してください。
- 各接続ピンが曲がっていたり、壊れていないかどうか、ご確認ください。
- ランプが確実に取り付けられているか確認してください。
  38-39 ページの「ランプの交換」セクションを参照してください。
- 「ミュート」機能がオンに設定されていないか確認してください。

画像のピントが合っていない

- プロジェクターレンズのフォーカスリングで調整してください。 *15* ページを参照してください。
- 投写画面がプロジェクターから必要な距離の間に入っていることを確認してください。
  (*42* ページを参照してください)。

16:9 DVDを再生表示しているとき、画像が伸びる

- アナモフィックDVDまたは16:9 DVDを再生しているとき、プロジェクターはプロジェクター側で16: 9フォーマットで最高の画像を表示します。
- LBXフォーマットのDVDタイトルを再生している場合、プロジェクターのOSDでLBXとしてフォーマットを変更してください。
- 4:3フォーマットDVDタイトルを再生している場合、プロジェクターOSDで4:3としてフォーマットを変更してください。
- お使いのDVDプレーヤーで、16:9 (ワイド)アスペクト比タイプとして表示フォーマットをセットアップしてください。

画像が大きすぎる、または小さすぎる

- プロジェクター上部のズームレバーを調整します。
- プロジェクターを画面に近づけたり、遠ざけたりしてください。
- プロジェクターパネルの「メニュー」を押し、「ディスプレー-->アスペクト比」に進みます。
  別の設定を試してみます。

画像が横に傾く

- 可能であれば、プロジェクターがスクリーンの中央下端に来るように配置し直してください。
- 調整を行うには、OSDから「ディスプレー-->キーストン」を使用します。

画像が反転する

- OSDから「設定-->設置モード」を選択し、投写方向を調整します。

ぼやけた二重画像

- 通常の 2D 画像がぼやけた二重画像にならないよう、「3D」ボタンを押して「オフ」にしてください。

追加情報

2つの画像、サイドバイサイドフォーマット

- 入力信号が HDMI 1.3 2D 1080i サイドバイサイドとなるように、「3D」ボタンを押して「Side By Side」に切り替えてください。

3Dで画像が表示されません

- 3D眼鏡のバッテリーが十分かどうか、ご確認ください。
- 3D眼鏡がオンになっているかどうか、ご確認ください。
- 入力信号が HDMI 1.3 2D (1080i サイドバイサイド) になっているとき、「3D」ボタンを押して「Side By Side」に切り替えてください。

その他の問題

プロジェクターがすべてのコントロールへの反応を停止します

- 可能であれば、プロジェクターの電源を切って電源コードを抜き、20 秒待ってから電源を接続し直してください。

ランプが消える、またはランプから破裂音がする

- ランプが寿命に近づくと、ランプはいずれ切れます。また、大きな破裂音が発生することがあります。この場合、ランプモジュールを交換しない限り、プロジェクターの電源を入れることはできません。*38-39* ページの「ランプの交換」セクションに記載されている手順に従ってランプを交換してください。

リモコンの問題

リモコンが作動しない場合、次を確認してください

- リモコンの操作角度が、プロジェクターの IR レシーバーから ±15°以上ずれていないことを確認します。
- リモコンとプロジェクターとの間に障害物がないことを確認する。プロジェクターから 7 m (23フィート) 以内に移動する。
- 電池が正しくセットされていることを確認する。
- 古くなった電池は、新しいものと交換します。

追加情報

警告インジケータ

警告インジケータ (以下を参照) が点灯または点滅すると、プロジェクターは自動的にシャットダウンします。

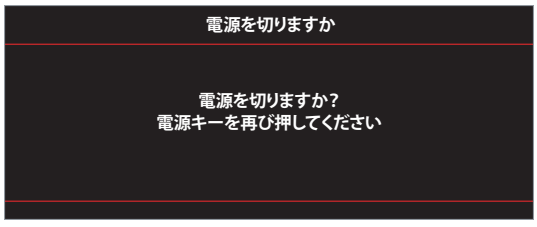
- 「ランプ」LED インジケーターが赤く点灯し、「オン／スタンバイ」インジケーターが赤色に点滅している場合。
- 「温度」LED インジケーターが赤く点灯し、「オン／スタンバイ」インジケーターが赤色に点滅している場合。この状態は、プロジェクターが過熱していることを示しています。
  標準の条件下になると、プロジェクターのスイッチをオンにすることができます。
- 「温度」LED インジケーターが赤く点滅し、「オン／スタンバイ」インジケーターが赤色に点滅している場合。

プロジェクターから電源コードを抜き、30秒後に再試行します。
警告インジケータが点灯または点滅したら、最寄りのコンタクトセンターに連絡して対処法をお尋ねください。

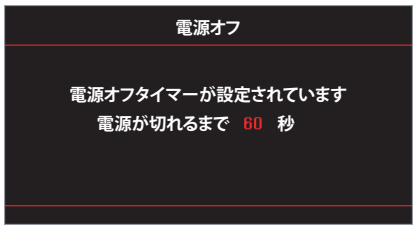
LED 点灯メッセージ

メッセージ	電源 LED	電源 LED	温度インジケータ LED	ランプ インジケータ LED
	(赤)	(緑または青)	(赤)	(赤)
スタンバイ状態 (入力コード)	不動灯			
電源オン(ウォーミング)		点滅 (0.5 秒オフ／0.5 秒オン)		
ランプのライトをオンにします。		不動灯		
電源オフ(冷却)		点滅 (0.5 秒オフ／0.5 秒点灯)。冷却ファンがオフになると、赤の点灯に戻ります。		
クイックレジューム (100 秒)		点滅 (0.25 秒オフ／0.25 秒点灯)。		
エラー (ランプトラブル)	点滅			不動灯
エラー (ファンが異常です)	点滅		点滅	
エラー (過熱)	点滅		不動灯	
スタンバイ状態 (バーンインモード)		点滅		
バーンイン (暖かくする)		点滅		
バーンイン (冷たくする)		点滅		

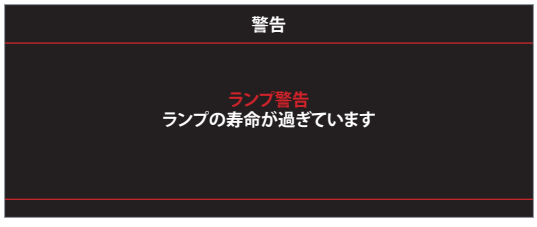
- 電源オフ:



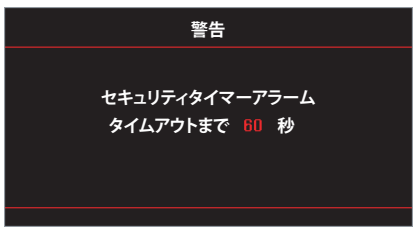
- 電源ダウン警告:



- ランプ警告:

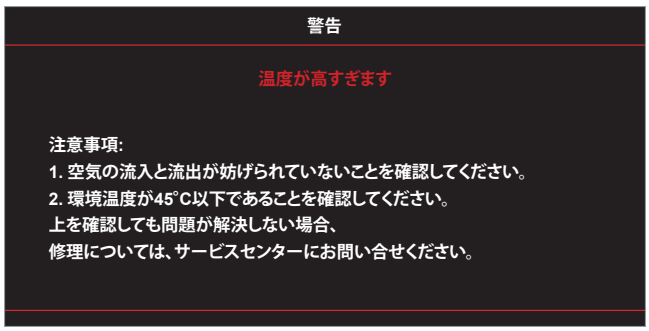


- セキュリティタイマーアラーム:

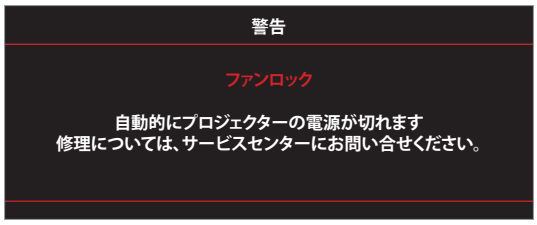


追加情報

- 温度警告:



- ファンのトラブル:



- 表示範囲外:



セキュリティー

プロジェクターを使用する前にパスワード入力のメッセージを表示するにはこの機能を有効にします。

- **オン**: [オン] を選択すると、プロジェクターの電源を入れるときにセキュリティー検証を行
  画面にしたがって、4桁のパスワードを入力してください。数字はリモコンの4方向選択キー
  で選びます。初めてお使いの際は、デフォルトのパスワード[1234]を入力してください。
  セキュリティーをオンにすると、セキュリティー設定画面が表示されます。

  ・セキュリティータイマー
  セキュリティータイマーから、時間（月/日/時）機能を選択して、プロジェクターの使用
  可能時間数を設定します。設定した時間が経過すると、プロジェクターから再度パスワー
  ドを入力するよう要求されます。

  ・パスワード変更
  パスワード変更を選択します。元のパスワードを入力すると、新しいパスワードを入力する
  よう要求されます。もう一度新しいパスワードを入力すると、パスワードが変更できます。

注記 間違ったパスワードを3回続けて入力すると、プロジェクターは10秒後に
自動的にシャットダウンします。

- **オフ**: [オフ] を選択すると、セキュリティー検証を行うことなくプロジェクターの電源を入れることができます。

設定と設置

仕様

光学	説明
最大解像度	・ビデオタイミング最大 1080p ・最大グラフィック WUXGA@60Hz
ネイティブ解像度	1080p (1920x1080)
レンズ	・手動ズームと手動フォーカス
ランプ寿命	**Philips E20.9i:** ・ブライトモード (通常モード) 5,000 時間 標準 @190W ・標準モード (エコモード) 6,000 時間 標準I @160W
イメージサイズ (対角)	41.8 インチ ～ 305 インチ (60 インチイメージサイズでの最適なフォーカス範囲)
投写距離	1.5m ～ 10m (60 インチイメージサイズでの最適なフォーカス範囲)

電気	説明
入力	・ HDMI 1.4a ・ HDMI 1.4a＋ MHL(v2.1)
出力	・オーディオ 3.5mm ・ 3D同期 ・ 12Vトリガ ・ USB - A電源
コントロール	・ USBタイプ A (マウス／サービス用)
色再現	10 億 7340 万色
スキャン速度	・水平スキャン速度: 15.375 ～ 91.146 KHz ・垂直スキャン速度: 24 ～ 85 Hz (3D 機能プロジェクターの場合 120Hz)
内蔵スピーカー	10W
電力要件	100 - 240V ±10%, AC 50/60Hz
入力電流	2.7A

機械	説明
取り付け方向	床置きフロント・天吊りフロント・床置きリア・天吊りリア
寸法	・ 298 mm (幅) x 230 mm (奥行) x 96.5 mm (高さ) (フットを含む)
重さ	2.4 kg
環境条件	5～ 40℃、10% ～ 85% 湿度 (結露なし) で動作

注記 *仕様はすべて予告なしで変更されることがあります。*

保　証　書

型　　式	DLP　プロジェクター		
シリアル番号			
ご　購　入　日	年　　月　　日	保証期間	ご購入日から1年間

★お客様	ご住所	
	お名前	様　TEL　　（　　）
★販売店	住　所 店　名	TEL　　（　　）　㊞ またはサイン

ご販売店様へ　　上記★印欄は必ず記入してお渡しください。

無料修理規定

※本書にお買い上げ年月日、お客様名、お買い上げ販売店名が記入されているかお確かめください。
　万一記入が無い場合は直ちにお買い上げ販売店にお申し出ください。
※故障品の修理に要する当社までの運送費はお客様のご負担となります。
1.保証期間内であっても次の場合は有償修理となります。
　(1) この保証書のご提示がない場合。
　(2) 保証書に、ご購入の年月日、お客様名、お販売店名の記入がない場合、および保証書の字句を書き換えられた場合。
　(3) ご使用上の誤り、または不当な修理や改造による故障及び損傷。
　(4) お買い上げ後の移動、輸送、落下等による故障および損傷。
　(5) 火災や天災等による故障および損傷。
　(6) 消耗品および付属品の交換の場合。
2.その他弊社が有償修理と判断した場合、実費を申し受けます。
3.ランプの保証期間について
　ランプの保証は購入日または交換日より6ヶ月以内もしくはご使用時間が1000時間までのいずれか早く到達した時点までとなります。
3.この保証書は日本国内においてのみ有効です。
　Eftective only Japan.
4.本保証書は再発行いたしませんので、大切に保管してください。

※この保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無償修理をお約束するものです。
　したがって、この保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありません。
　保証期間経過後の修理についてご不明の場合は、下記コンタクトセンターまたはお買い上げの販売店にお問い合わせください。

東京都足立区綾瀬3-25-18
株式会社オーエス
コンタクトセンター：0120-380-495
http://ww.os-worldwide.com
E-mail:info@os-worldwide.com

東京都足立区綾瀬3-25-18
株式会社オーエスプラスe
コンタクトセンター：0120-212-750
http://www.os-worldwide.com/os_plus_e/
E-mail:e.info@os-worldwide.com

追加情報

Optoma 社グローバルオフィス

サービスやサポートにつきましては、現地オフィスにお問い合わせください。

アメリカ
3178 Laurelview Ct.
Fremont, CA 94538, USA
www.optomausa.com
888-289-6786
510-897-8601
services@optoma.com

カナダ
3178 Laurelview Ct.
Fremont, CA 94538, USA
www.optomausa.com
888-289-6786
510-897-8601
services@optoma.com

中南米及びメキシコ
3178 Laurelview Ct.
Fremont, CA 94538, USA
www.optomausa.com
888-289-6786
510-897-8601
services@optoma.com

ヨーロッパ
42 Caxton Way, The Watford Business Park
Watford, Hertfordshire,
WD18 8QZ, UK
www.optoma.eu
サービスダイヤル:
+44 (0)1923 691865
+44 (0) 1923 691 800
+44 (0) 1923 691 888
service@tsc-europe.com

Benelux BV
Randstad 22-123
1316 BW Almere
The Netherlands
www.optoma.nl
+31 (0) 36 820 0252
+31 (0) 36 548 9052

フランス
Bâtiment E
81-83 avenue Edouard Vaillant
92100 Boulogne Billancourt, France
+33 1 41 46 12 20
+33 1 41 46 94 35
savoptoma@optoma.fr

スペイン
C/ José Hierro,36 Of. 1C
28522 Rivas VaciaMadrid,
Spain
+34 91 499 06 06
+34 91 670 08 32

ドイツ
Wiesenstrasse 21 W
D40549 Düsseldorf,
Germany
+49 (0) 211 506 6670
+49 (0) 211 506 66799
info@optoma.de

スカンディナビア
Lerpeveien 25
3040 Drammen
Norway
+47 32 98 89 90
+47 32 98 89 99
info@optoma.no

PO.BOX 9515
3038 Drammen
Norway

韓国
WOOMI TECH.CO.,LTD.
4F, Minu Bldg.33-14, Kangnam-Ku,
Seoul,135-815, KOREA
korea.optoma.com
+82+2+34430004
+82+2+34430005

日本
東京都足立区綾瀬3-25-18
株式会社オーエス
コンタクトセンター:0120-380-495
info@os-worldwide.com
www.os-worldwide.com

台湾
12F., No. 213, Sec. 3, Beixin Rd.,
Xindian Dist., New Taipei City 231,
Taiwan, R.O.C.
www.optoma.com.tw
+886-2-8911-8600
+886-2-8911-6550
services@optoma.com.tw
asia.optoma.com

香港
Unit A, 27/F Dragon Centre,
79 Wing Hong Street,
Cheung Sha Wan,
Kowloon, Hong Kong
+852-2396-8968
+852-2370-1222
www.optoma.com.hk

中国
5F, No. 1205, Kaixuan Rd.,
Changning District
Shanghai, 200052, China
+86-21-62947376
+86-21-62947375
www.optoma.com.cn